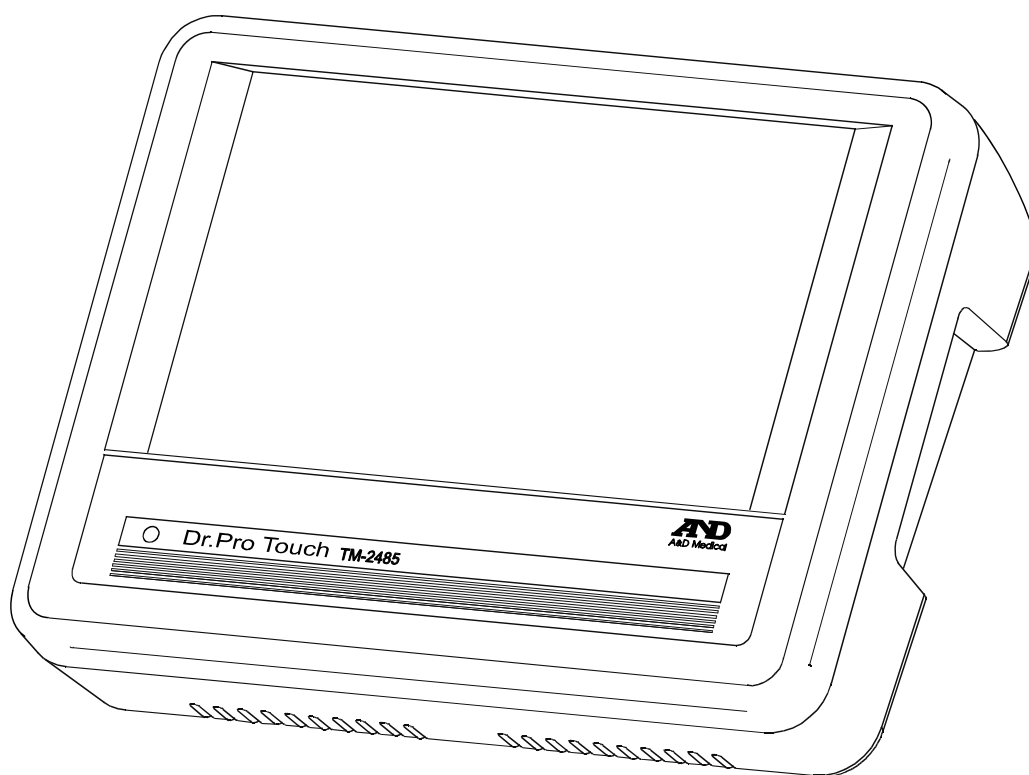
ＴＭ－２４８５

解析ターミナル

取扱説明書

Dr.Pro Touch

ご注意

（1）　本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。

（2）　本書の内容については将来予告無しに変更することがあります。

（3）　本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

（4）　当社では本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号を表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

⚠危険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
⚠警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

⚠	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が記されています。
⃠	⃠記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「分解禁止」を示します。
❗	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示しています。具体的な強制内容は、 ●の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「守っていただきたいこと」を示します。

その他

お知らせ	機器を操作するのに役立つ情報です。

この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

使用上（安全および危険防止）の注意事項

解析ターミナル（TM-2485）を正しく安全にお使いいただくために、以下の注意事項を熟読された上でお取り扱いください。この注意事項は、機器の安全な取り扱いの他、被検者および操作者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用前に本取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置場所および保管場所は、次の点に注意してください。

⚠危険	
	■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本機を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

⚠注意	
❗	下記の使用環境、保管場所でご使用ください。 ■ 水のかからない場所。 ■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。 ■ 振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。 ■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 ■ 設置：温度＋10℃～＋40℃、湿度 30%～85%RH（結露なきこと）の場所。 ■ 保管：温度－20℃～＋55℃、湿度 95%以下の場所。 ■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

⚠注意	
	■ 機器が安全かつ正確に動作すること。 ■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。 ■ 他の機器との併用は正確な診断を誤らせたり、危険な状態になる恐れがあるので、接続の際は安全性を再点検すること。 ■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。 ■ 付属されている専用のＡＣアダプタを使用すること。 ■ 当社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。 ■ 付属品やオプション品に添付された取扱説明書も熟読してから使用すること。 本書にはそれらの注意事項は記載していません。 ■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。 ■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。
	■ 通信ケーブルコネクタに指定の血圧計以外は接続しないこと。

3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

⚠注意	
	■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。 ■ 周辺で携帯電話を使用しないこと。誤動作の原因になります。

4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

⚠注意	
	■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。 ■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。 ■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
	■ ケーブル類を取り外すときは、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。

5. 機器が異常と思われたときは、次の処置をしてください。

⚠警告	
	■ 機器の動作を止め、電源を切り、ＡＣアダプタをコンセントから抜くこと。 ■ 機器に、「故障」「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社 ME 機器相談センターまでご連絡ください。

6. 保守点検については次の点に注意してください。

<table>
<tr><th colspan="2">⚠警告</th></tr>
<tr><td></td><td>■ お手入れの際は、感電防止のため、本機の電源を切り、ＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。
■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。
■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。</td></tr>
<tr><td></td><td>■ 本機の分解、および改造はしないでください。
火災・感電の原因になります。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td></td><td>■ 手入れの際は乾燥した柔らかい布を使用すること。シンナー、ベンジン等揮発性の液体やぬれ雑巾等は使用しないこと。</td></tr>
</table>

7. 強い電磁波により誤動作を起こすことがありますので注意してください。

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td></td><td>■ 本機は、周囲に強い電磁波などが存在すると、波形に雑音が混入したり、誤動作を起こすことがあります。機器の使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。

次に一般的な原因と対策の一例をあげます。
■ 携帯電話等の使用
電波によって予期せぬ誤動作をする可能性があります。
□ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器などの電源を切るよう指導する。
■ 電源コンセントを伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合
□ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置などにより対策する。
□ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。
□ 他の電源コンセントから電源を取る。
■ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）
□ 装置を使用する前に、測定者、被検者とも十分に放電を行う。
□ 部屋を加湿する。
■ 落雷などによる影響
近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。
□ 無停電電源装置（JIS T0601-1 を満足している機種）を使用する。</td></tr>
</table>

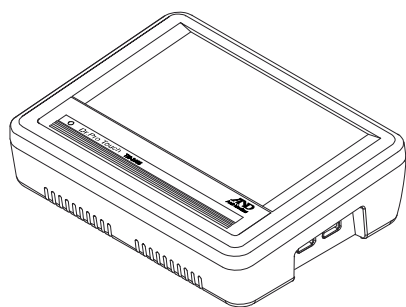
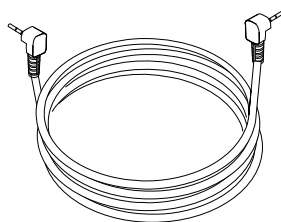
開梱

⚠注意	
	■ 本機は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ
■ 本機は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店に連絡してください。なお、将来本機を輸送する場合は梱包材を保管しておいてください。

ご使用の前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、内容物に不足がございました場合には、お買い求め頂いた販売店または弊社営業所にお問い合わせください。オプション品は「15. オプション」を参照してください。

本体 1
標準付属品　　　通信ケーブル（型名：AX-KO3676-1500） ....1 本
　　　　　　　　ＡＣアダプタ（型名：AX-TB252） ....1 個
　　　　　　　　傾斜台（型名：1094000833） ....1 個
　　　　　　　　　　・傾斜台本体
　　　　　　　　　　・取り付けネジ 2 本
　　　　　　　　取扱説明書（本書） ....1 冊
　　　　　　　　保証書 ....1 枚

本体

通信ケーブル

ＡＣアダプタ

傾斜台

取扱説明書

保証書

目次

1.　はじめに

このたびは、エー・アンド・デイの解析ターミナル（TM-2485）をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、解析ターミナル（TM-2485）の接続、設定、ならびに、保守、仕様について記述したものです。本機をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

2.　特長

解析ターミナル（TM-2485）は、専用通信ケーブルにより、TM-243 シリーズ（携帯型自動血圧計）、および、UA PC シリーズ（家庭向け上腕血圧計）で測定された血圧値、リストデータ等を印刷することが可能であり、以下の特長があります。

- ■ 血圧計（TM-243 シリーズ）との通信。
- ■ 血圧計（TM-243 シリーズ）の時刻、ID、および、自動測定機能を設定できます。
- ■ 血圧計（UA-767PC）の時刻を設定できます。
- ■ 血圧計のデータ処理機能。
  - □ TM-243 シリーズ（携帯型自動血圧計）
    - 24 時間毎に血圧データ／脈拍データ／圧負荷データの統計処理結果、および、トレンドグラフをプリントします。統計処理結果は、最高血圧／最低血圧／脈拍毎の平均値／標準偏差です。
    - 圧負荷データ（PRESSURE LOAD）は、最高血圧／最低血圧のそれぞれについて、任意に設定した値を超えている面積を算出します。（単位 mmHg･h）
    - 統計処理を行う区分は 24 時間ブロックを基本にし、その中をインターバル・ブロックおよび任意に設定した起床時間帯／就床時間帯の結果をプリントします。
  - □ UA-767PC（家庭向け上腕血圧計）
    - 1 ヶ月毎に血圧データ／脈拍データの統計処理結果、および、トレンドグラフをプリントします。統計処理結果は、最高血圧／最低血圧／脈拍毎の平均値／標準偏差です。
    - 統計処理、および、トレンドグラフの対象データは、時間範囲とは無関係に全データです。
    - 最高血圧／最低血圧の値が、140／90［mmHg］を越えている個数を算出します。2 ヶ月以上測定データがある場合は、血圧データを全てプリントした後に、血圧データのトレンドグラフ、脈拍データのトレンドグラフの順に全てプリントします。

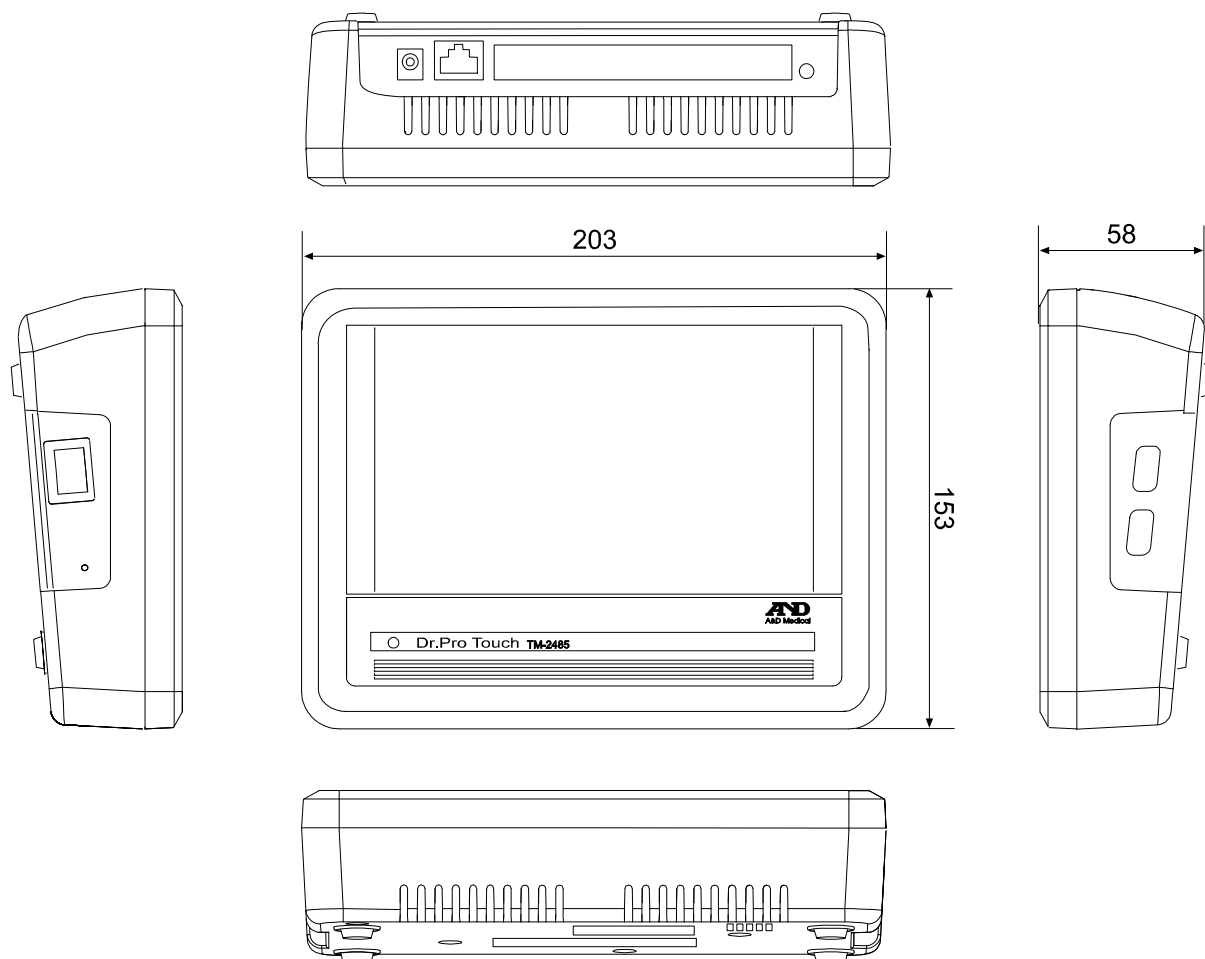
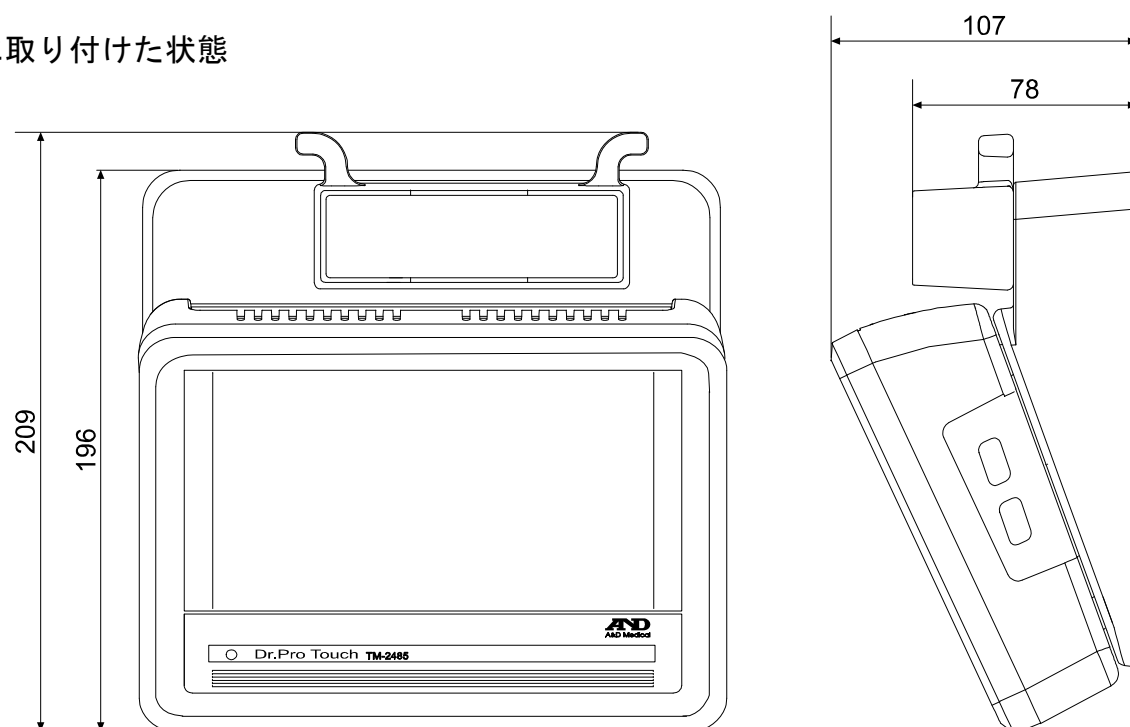
3.　略語・記号の解説

記号（シンボル）	解説
⚠	注意記号：添付文書、取扱説明書を参照
⊖-⊙-⊕	ＡＣアダプタジャック極性表示（直流入出力：極性表示（統一形））
Ｉ／〇	電源ＯＦＦ（〇）、電源ＯＮ（－）
📖i	取扱説明書を参照
⎓	直流
⧈	クラスⅡ機器

4.　仕様

項目	仕様
型名	TM-2485
外形寸法	203mm (W) × 153mm (D) × 58mm (H)　突起部を除く
質量	約 1.0kg
電源	ＡＣアダプタ　: AX-TB252 入力　: AC100V　50-60Hz　15VA 出力　: DC12V
電撃保護形式	クラスⅡ
表示	バックライト付き TFT カラー液晶表示（7 インチサイズ、800×480 dot）
本体メモリ	約 500 データ　（記録可能なデータ数は目安です。データ種類により変化します。） 本体メモリへの保存ファイル形式： ①CSV ファイル：数値データファイル ②DAT ファイル：解析ソフト「TM-2430-15」ファイル形式
通信機能	シリアル通信　: EIA RS-232C 規格準拠 USB 通信　: USB 1.1 規格準拠 LAN 通信　: 100BASE-TX 規格準拠
動作環境	温度： +10～ +40℃　湿度： 30～85%RH　気圧：70～107kPa
保存環境	温度： -20～ +55℃　湿度： 95%RH 以下　気圧：70～107kPa
販売名	解析ターミナル（Dr. Pro Touch）
電磁環境適合性（EMC）適合規格	本製品は、EMC 規格（IEC60601-1-2：2007）に適合しています。
耐用期間	設置後 6 年。 当社データによる自己認証。（正規の保守点検などの推奨された環境で使用した場合のデータです。使用状況により差異が生じることがあります。）

4.1.　外形図

本体

本体を傾斜台に取り付けた状態

単位：mm

4.2.　接続可能な血圧計

TM-2485 は以下のモデルで使用できます。

接続ケーブル 血圧計モデル	L 型プラグケーブル （AX-KO3676-1500）	USB-RS232C 変換ケーブル （AX-KO3057B-200）
TM-243 シリーズ	○	○
UA-767PC	○	○

＜接続可能な血圧計＞

TM-243 シリーズ

・血圧の治療や調査、研究などに有効な 24 時間の日常生活での血圧変動を測定、記憶します。
・約 220g の軽量、手のひらサイズ。
・血圧の日内変動を正確にキャッチします。

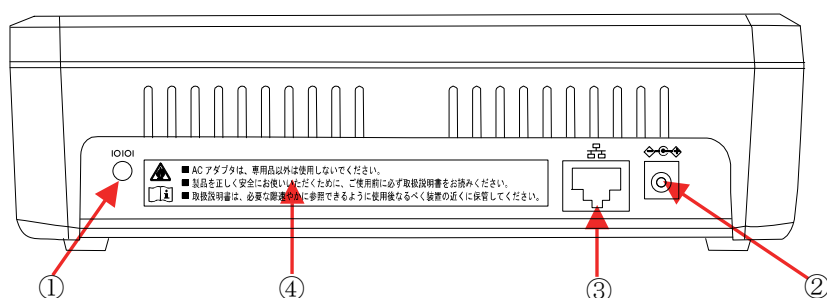
UA-767PC

・測定データを 126 回分まで記憶します。
・時刻、カレンダー機能付。
・測定時刻を 1 日 6 つまでアラーム設定できます。
・血圧治療のモニタリング、薬効等の臨床試験、血圧に関する調査、在宅管理システムに利用できます。

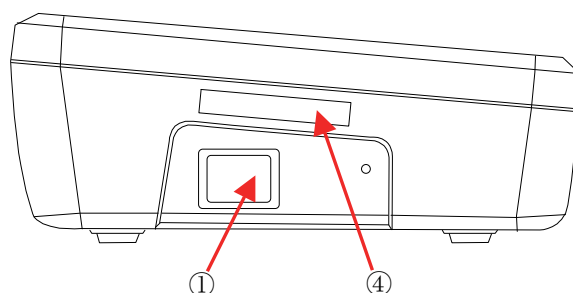
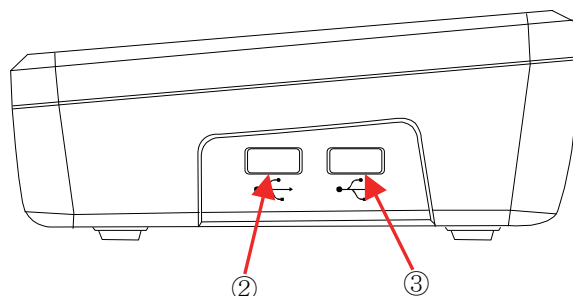
5. 各部の名称

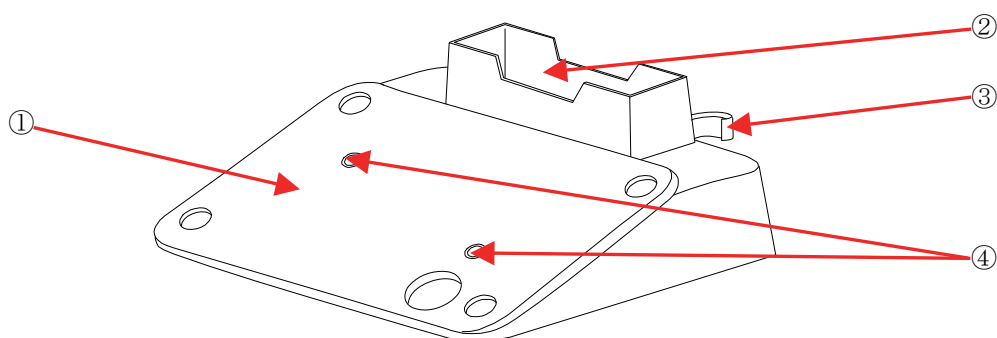
5.1. 上面図

番号	名称	説明
①	タッチパネル表示部	解析操作の選択や解析結果を表示します。 タッチパネル液晶ディスプレイです。
②	電源ランプ	電源 ON 時 LED が点灯します。

5.2. 背面図

番号	名称	説明
①	通信ケーブルコネクタ	ミニピンジャック用の通信ケーブルを接続します。
②	電源コネクタ	付属ＡＣアダプタの電源ケーブルを接続します。
③	LAN コネクタ	LAN ケーブルを接続します。
④	警告ラベル	製品使用上での注意点が記載されています。 警告ラベルが剥がれていた場合はお買い求めて頂いた販売店または弊社営業所までご連絡ください。

5.3.　側面図

左側面

右側面

番号	名称	説明
①	電源スイッチ	電源の ON/OFF スイッチです。 OFF［○］: 電源 OFF します。 ON［｜］: 電源 ON します。
②	USB コネクタ 1	血圧計を接続する USB ケーブルや USB メモリ、プリンタ用 USB ケーブルを接続します。
③	USB コネクタ 2	血圧計を接続する USB ケーブルや USB メモリ、プリンタ用 USB ケーブルを接続します。
④	警告シール	本体内のデータ保存に対する注意が記載されています。

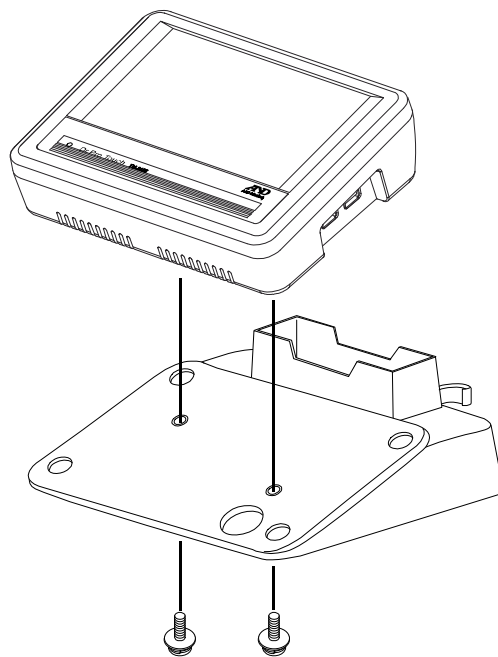
5.4.　傾斜台

番号	名称	説明
①	筐体取り付け面	TM-2485 の取り付け面です。
②	TM243 シリーズ設置場所	TM-243 シリーズの設置場所です。
③	ケーブルフック	ケーブル類巻き付け用フックです。
④	取り付けネジ穴	TM-2485 を取り付ける際のネジ穴です。

6. 使用前の準備

6.1. 本体の設置

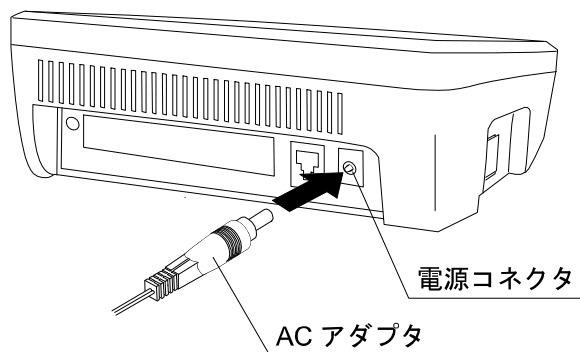
本書巻頭の使用上の注意事項を参照し、適切な場所に安全かつ正しい方法で装置本体を設置します。

6.2. 傾斜台取り付け

本機を傾斜台に取り付けネジ（2 本）で固定してください。

6.3. 電源の接続

本機は、ＡＣ電源により動作します。

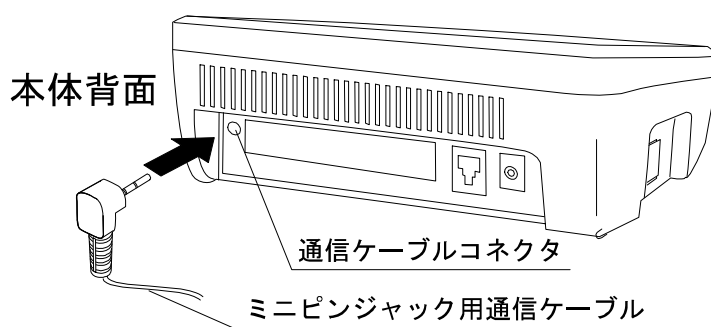
(1) 付属のＡＣアダプタプラグを壁面の AC100V（交流）コンセントに差し込んでください。

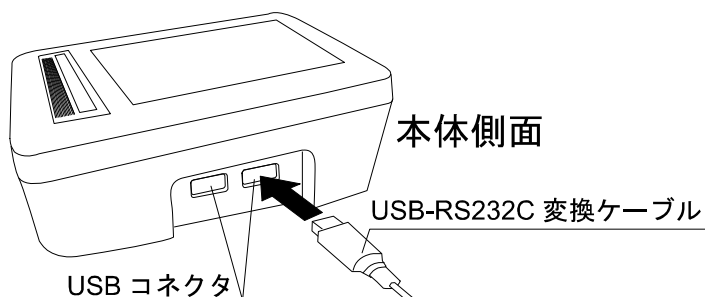
(2) ＡＣアダプタの出力ケーブルを本体の電源コネクタへ差し込んでください。

⚠注意	
	■ ＡＣアダプタは必ず指定のものを使用してください。

6.4.　　血圧計の接続

本機へ血圧計を接続するには、通信ケーブル「ミニピンジャック／ミピンニジャク仕様」と、通信ケーブル「RS-232C／USB 変換ケーブル仕様」を使用可能です。

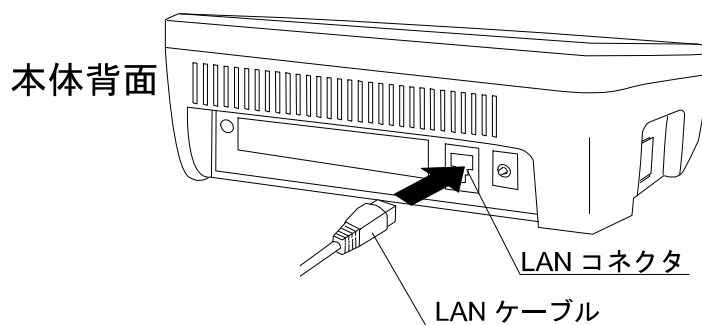
6.4.1.　　ミニピンジャック仕様の場合

本体背面の通信ケーブルコネクタにミニピンジャック用の通信ケーブル（AX-KO3676-1500）を差し込みます。

6.4.2.　　USB仕様の場合

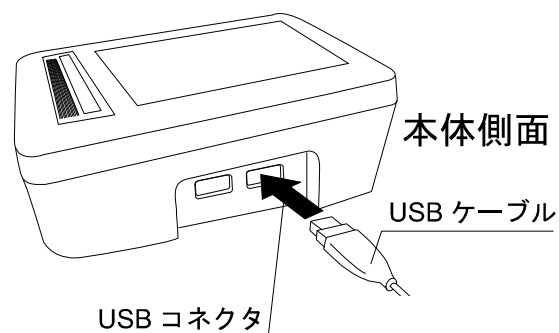
本体側面の USB コネクタにオプションの USB-RS232C 変換ケーブル（AX-KO3057B-200）を差し込みます。

6.5.　　プリンタの接続

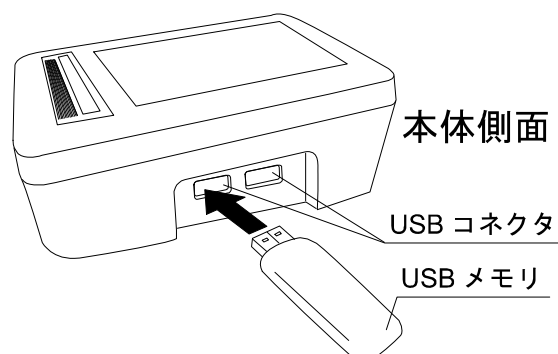
プリンタは、オプションプリンタのみ使用可能です。
本機へプリンタを接続するには「LAN 仕様の場合」と「USB 仕様の場合」のいずれかが選択ができます。

6.5.1.　LAN仕様の場合

市販されているLANケーブルの片側を専用プリンタ（オプション）のLANコネクタに接続し、もう片方を本体背面のLANコネクタに差し込みます。

お知らせ
■ ネットワーク上のプリンタは、オプションの専用プリンタが必要です。
■ ご使用の際は、本体側の「本体設定」の「プリンタ設定」で専用プリンタの IP アドレスを設定してください。
■ ネットワーク（LAN）接続時は、システム管理者へご相談ください。
■ 使用する専用プリンタ側の IP アドレスの設定は、専用プリンタ付属の取扱説明書を参照してください。

6.5.2.　USB仕様の場合

オプションのUSBケーブルまたは市販されているUSBケーブルの片側をプリンタのUSBコネクタに接続し、もう片方を本体側面の USB コネクタに差し込みます。

6.6.　USBメモリの接続

データを USB メモリに保存したいときに使用します。
本機へ USB メモリを接続するには、本体側面の USB コネクタに USB メモリを差し込みます。

6.7. 始業前点検

⚠警告	
	■ 安全に正しく使用するため日常点検として「始業前点検」を必ず行ってください。

6.7.1. はじめに

一日の最初に使用するとき、以下の「始業前点検」を行ってください。

6.7.2. 電源投入前

本体	■本体、および外観が、落下等による変形や破損はないか
	■汚れがひどくないか
	■濡れていないか
ＡＣアダプタ	■本体のコネクタにしっかりと挿入されているか
	■電源ケーブルの上に重いものを置いていないか
	■電源ケーブルは傷んでいないか
通信コネクタ	■接続端子のガタ、破損がないか

6.7.3. 電源投入後

本体	■けむりが出たり、変なにおいはないか
	■異常な音が聞こえないか
時刻の確認	■時刻は正しくセットされているか 測定値を解析するときや、記録に残す場合、時刻が違っていると、データが不正確となりますので注意が必要です。

上記の「始業前点検」は、血圧計の「始業前点検」項目と併せてご確認ください。

7. 画面と操作

本機はタッチパネル式です。各画面の操作は、直接画面にタッチすることにより操作可能です。

⚠注意	
	■ タッチパネルの表面を鋭利な刃物やとがった物で、こすったり押したりしないでください。

7.1. 画面表示概要

本機を使用するにあたり、表示される各画面について説明します。
電源を ON すると、起動画面表示後、「ホーム」画面が立ち上がります。

7.1.1. 画面共通

番号	名称	説明
①	時刻	本体時刻を表記します。
②	接続方式	血圧計を接続し通信状態のとき、血圧計との接続方式を表示します。（USB=USB 接続/PIN=ミニピンジャック接続を意味します）
③	血圧計マーク	血圧計との接続が通信状態のとき、点灯します。血圧計が接続されていない、または使用状態になっていない場合、マークはとなります。
④	プリンタマーク	専用プリンタが使用可能のとき、点灯します。専用プリンタが接続されていない場合、マークはとなります。
⑤	USB メモリマーク	USB メモリが使用可能のとき、点灯します。USB メモリが接続されていない場合、マークはとなります。

＜接続関連＞

アイコン	説明
	TM-2485 と血圧計の接続状態を表します。 血圧計と TM-2485 が通信可能です。
	TM-2485 に血圧計が接続されていません。 または使用状態になっていません。
	TM-2485 と専用プリンタ（USB または LAN）の接続状態を表します。 専用プリンタが使用可能です。
	TM-2485 に専用プリンタが接続されていません。 または使用状態になっていません。
	TM-2485 と USB メモリの接続状態を表します。 USB メモリが使用可能です。
	TM-2485 に USB メモリが接続されていません。 または使用状態になっていません。

＜アイコン＞

アイコン	説明
	「詳細解析」アイコンです。 血圧計や、本体メモリ、USB メモリに保存されたデータを読み込み、解析します。
	「けんさの準備」アイコンです。 TM243 シリーズの測定設定を選択し、血圧計に登録します。 ※血圧計（TM-243 シリーズ）専用の設定キーです。
	「かんたん解析」アイコンです。 血圧計が接続されたとき、操作可能になります。 接続された血圧計からデータ読み込み、解析を行います。
	「設定」アイコンです。 本機の設定や周辺機器の設定を行います。
	「トリセツ」アイコンです。 本機や血圧計の取扱説明を行います。

7.1.2. USBメモリの安全な取り外し

＜手順＞

USBメモリは下記の手順で取り外してください。
USB メモリが接続され使用可能のときは、下記の表示になっています。

① 画面右上の「USB メモリマーク」をタッチしてください。

② 確認ポップアップが表示されます。「OK」キーをタッチしてください。

③ 「USB メモリマーク」が になります。 マークになったら USB コネクタから USB メモリを取り外してください。

7.2.　　ホーム画面

「ホーム」画面より、「トリセツ」・「けんさの準備」・「かんたん解析」・「詳細解析」・「設定」画面へ移行します。

「ホーム」画面：

7.3.　かんたん解析

「かんたん解析」では、現在接続されている血圧計より読み込んだデータを基に計算を行い、データの保存やレポート印刷を行います。（血圧計を接続しない場合、キーをタッチしても機能しません）

・血圧計から測定データを読み込みます。
・読み込んだ測定データから、解析する区間を抜き出します。
・読み込んだデータをリスト表示します。
・レポートに記載する被検者情報を入力します。
・解析区間内のデータを用いて、種々の計算を行い、定められた形式のレポートを印刷します。
・測定データを各ファイル形式で保存します。

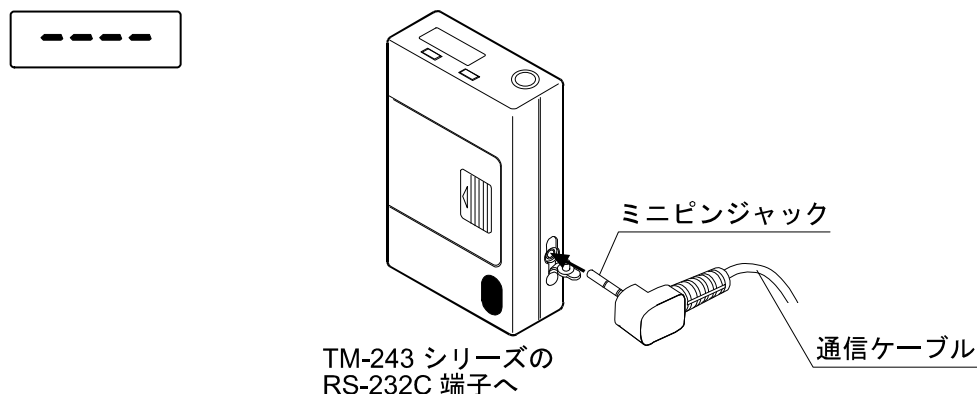
7.3.1.　通信の準備

血圧計と本体との通信方法として「ミニピンジャックケーブルによる通信」と「USB ケーブルによる通信」を選択できます。それぞれの内容について以下に示します。

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td></td><td>■ 血圧計からデータを取り込み、本体側の画面上にデータが表示されたら、血圧計から接続ケーブルを取り外してください。血圧計に通信ケーブルを挿入したまま放置すると、血圧計の電池を消耗します。
■ 通信ケーブルを取り外すと、血圧計は時計表示へ戻ります。</td></tr>
</table>

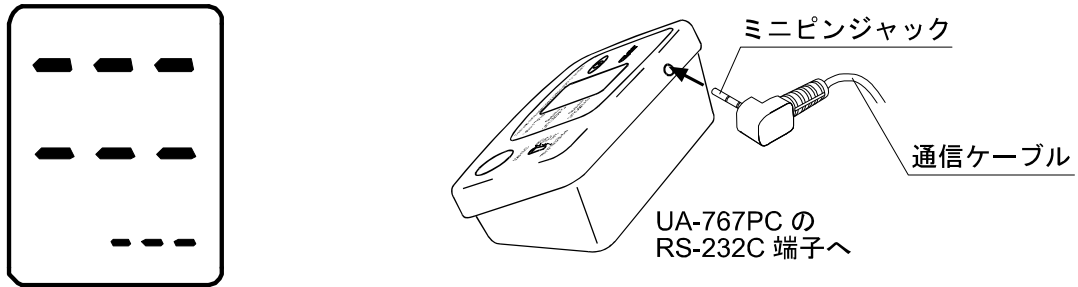
7.3.1.3. 通信ケーブルによる通信（ミニピンジャック）

●TM-243 シリーズの場合

① 本機の背面のコネクタに、通信ケーブルを接続します。（「6.　使用前の準備」を参照してください。）
② 通信ケーブルのミニピンジャック側を血圧計（TM-243 シリーズ）に接続します。
　血圧計（TM-243 シリーズ）の表示が以下のようになります。

③ 血圧計の表示が変わったら、ケーブルによる通信準備の完了です。

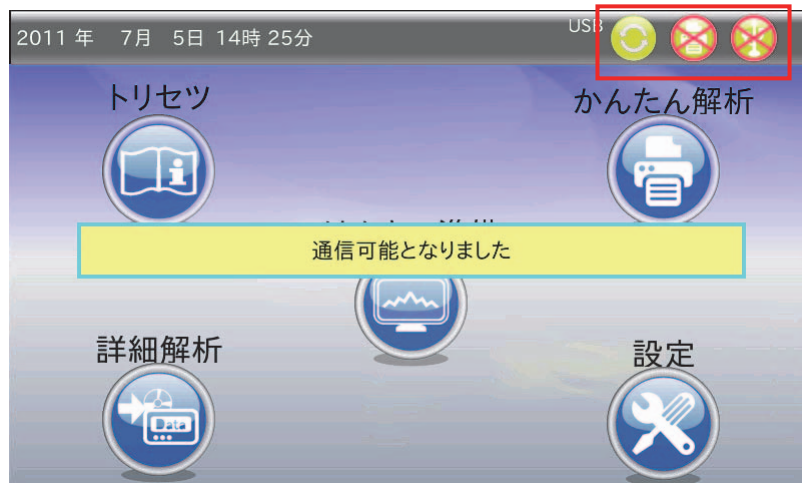
●UA-767PC の場合

① 本機の背面のコネクタに、通信ケーブルを接続します。（「6. 使用前の準備」を参照してください。）

② 通信ケーブルのミニピンジャック側を血圧計（UA-767PC）に接続します。
血圧計（UA-767PC）の表示が以下のようになります。

③ 血圧計の表示が変わったら、ケーブルによる通信準備の完了です。

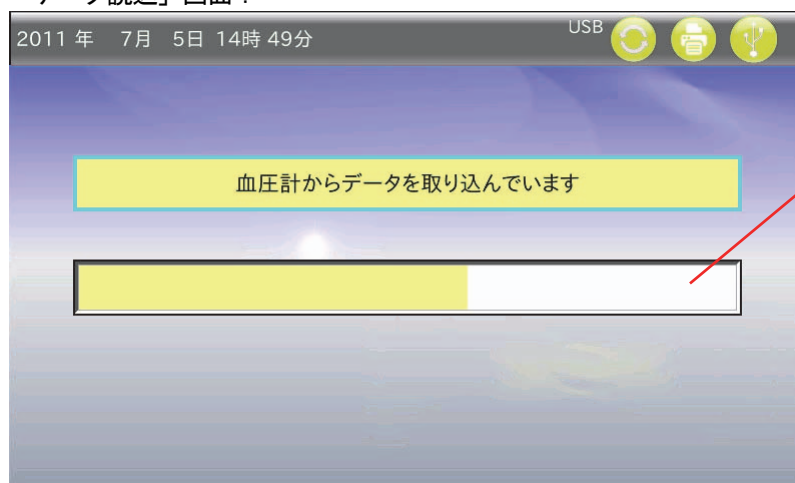
7.3.1.2. TM-2485 での通信動作

① 血圧計が通信可能状態になると、通信接続音が鳴り、「血圧計マーク」が マークになります。

② また、「ホーム」画面に限り「通信可能となりました」とポップアップが表示されます。
3 秒程度でポップアップ表示は消えます。

③ プリンタおよびUSBメモリの場合は、通信可能状態になっても、通信接続音は鳴らず、ポップアップも表示されません。

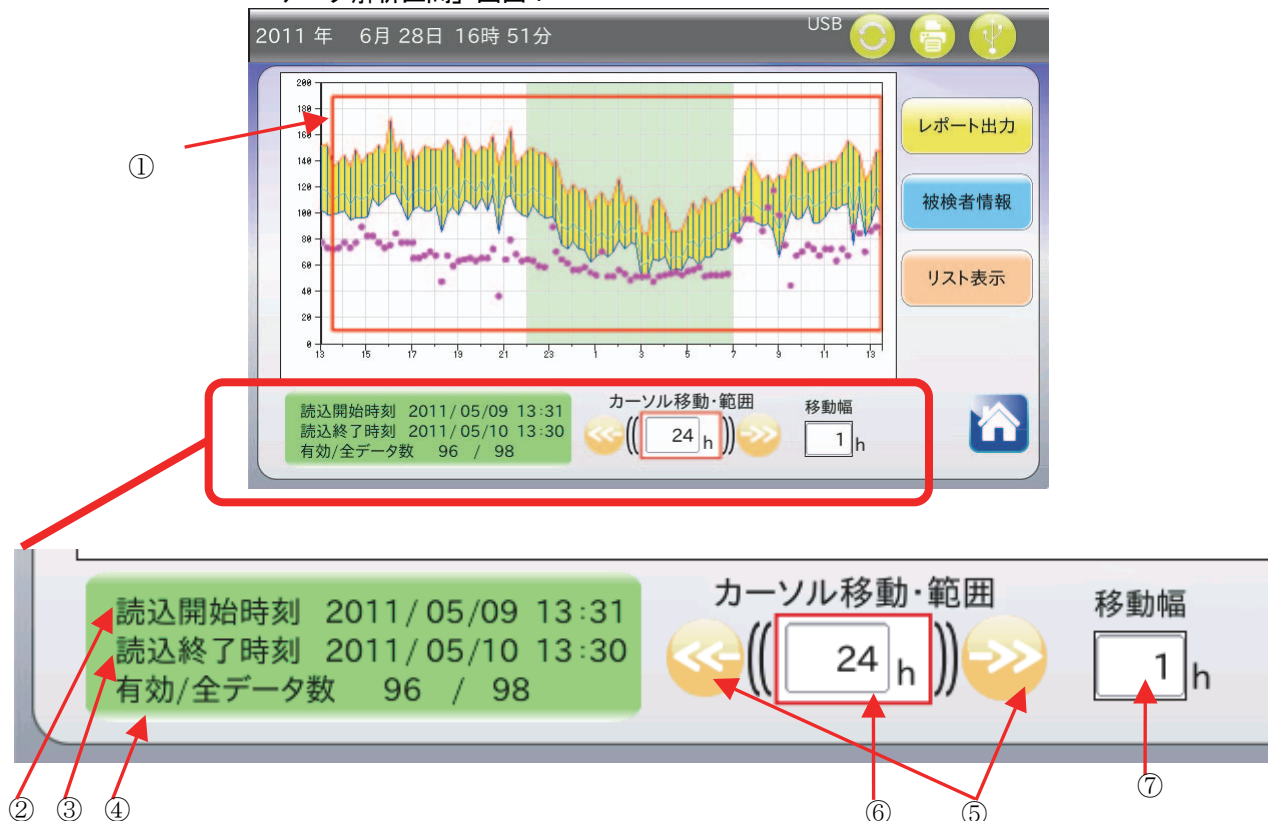
7.3.2. データ読込

「ホーム」画面において「かんたん解析」アイコンをタッチすると、プログレスバーが表示され、血圧計に保存されている全データを読み込みます。

「データ読込」画面：

① 読込終了後、自動的に「データ解析区間」画面になります。
② データ読込終了後、血圧計から通信ケーブルのミニピンジャックを抜いてください。

7.3.3.　データ解析区間

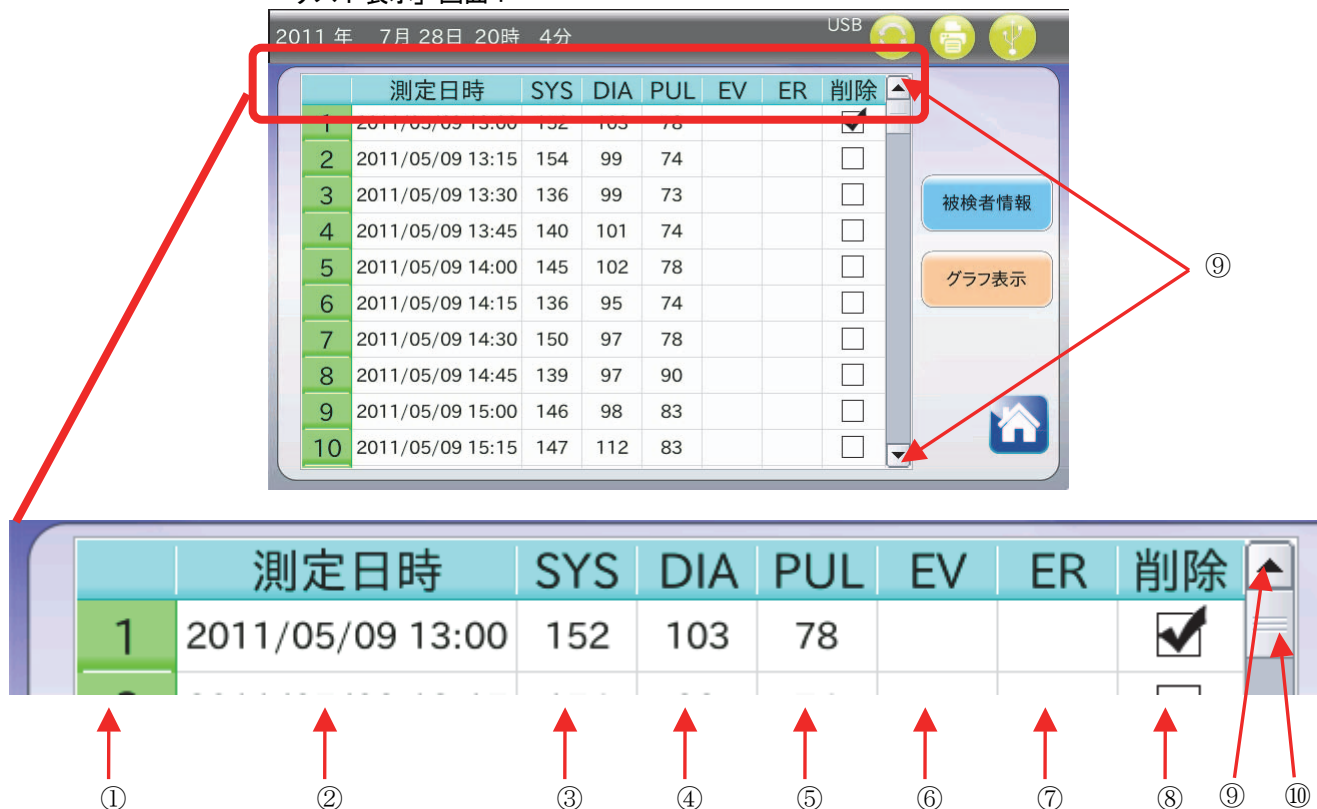
読み込んだ測定データをトレンドグラフで表示します。

「データ解析区間」画面：

番号	名称	説明
①	解析区間カーソル	設定した時間幅で解析区間の範囲を表します。
②	読込開始時刻	解析する区間データの範囲を表します。
③	読込終了時刻	解析する区間データの範囲を表します。
④	有効／全データ数	解析区間データ内の有効データの数を表します。
⑤	「カーソル移動」キー	解析区間カーソルを移動させます。
⑥	カーソル移動・範囲	解析区間カーソルの時間幅です。数値をタッチすると「数値入力」ダイアログが表示され、時間幅を変更します。
⑦	カーソル移動時間幅	「カーソル移動」キーの 1 タッチにおける移動時間幅です。数値をタッチすると「数値入力」ダイアログが表示され、移動時間幅を変更します。

※「数値入力」ダイアログに関しては、「10.1. 数値入力」を参照してください。

(1)　「カーソル移動・範囲」および左右移動矢印で、解析範囲を指定します。
(2)　「レポート出力」キーをタッチすると、「レポート出力」画面に移行します。
(3)　「被検者情報」キーをタッチすると「被検者情報」画面へ移行します。
(4)　「リスト表示」キーをタッチすると、「リスト表示」画面へ移行します。
(5)　「ホーム」キーをタッチするとポップアップが表示されます。「はい」をタッチすると読み込んだデータを全てクリアして「ホーム」画面へ戻ります。

7.3.4. リスト表示

「データ解析区間」画面において「リスト表示」キーをタッチすると、「リスト表示」画面になります。

番号	名称	説明
①	データ番号	測定日時順にソートした際に付加したデータ番号
②	測定日時	データの測定年／月／日／時／分／を表示します。
③	SYS（最高血圧値）	最高血圧値を表示します。
④	DIA（最低血圧地）	最低血圧値を表示します。
⑤	PUL（脈拍）	脈拍を表示します。
⑥	EV（イベント）	イベントを表示します。マニュアル測定を行うと「M」マークが表示され、自動測定が行われると空欄となります。
⑦	ER（エラー）	エラーを表示します。測定エラーが発生すると、「ER」欄にエラー番号が表示されます。
⑧	削除	データの適応か削除を決定します。「削除」欄の□表示をタッチするとチェックマークが表示されます。この時、該当データは解析に使用されなくなります。エラーデータの場合、このチェックマークを外すことはできません。
⑨	△▽キー	△：リストを上方向（古いデータ）にスクロールさせます。 ▽：リストを下方向（新しいデータ）にスクロールさせます。
⑩	スクロールバー	リストの格納件数によりスクロールバーのサイズが変わります。 スクロールバーを直接タッチするとリストのスクロールが可能です。

※機種に依存するエラーコードは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

(1) 読み込んだ測定データが測定日時ごとにリストアップされます。
(2) 画面上の［削除］項目の□枠内をタッチすると、□枠内に☑チェックマークが付きます。チェックマークが付くと、解析区間からそのデータを除外して画面表示します。また、計算結果からも除外されます。
（データ上は削除されていません。）

7.3.5.　被検者情報

「データ解析区間」画面や「リスト表示」画面において「被検者情報」キーをタッチすると、「被検者情報」画面になります。

「被検者情報」画面：

① 被検者 ID、被検者名（姓名）、性別、年齢を入力します。
② 被検者 ID 欄をタッチすると「英数入力」ダイアログが表示され、被検者（姓名）欄をタッチすると、「全角かな入力」ダイアログが表示されます。
③「登録」キーをタッチすると、設定が反映されます。
④「リターン」キーをタッチすると、変更した設定値はクリアされ「データ解析区間」画面へ戻ります。

7.3.6.　レポート出力

「データ解析区間」画面において「レポート出力」キーをタッチすると、「レポート印刷」画面になります。

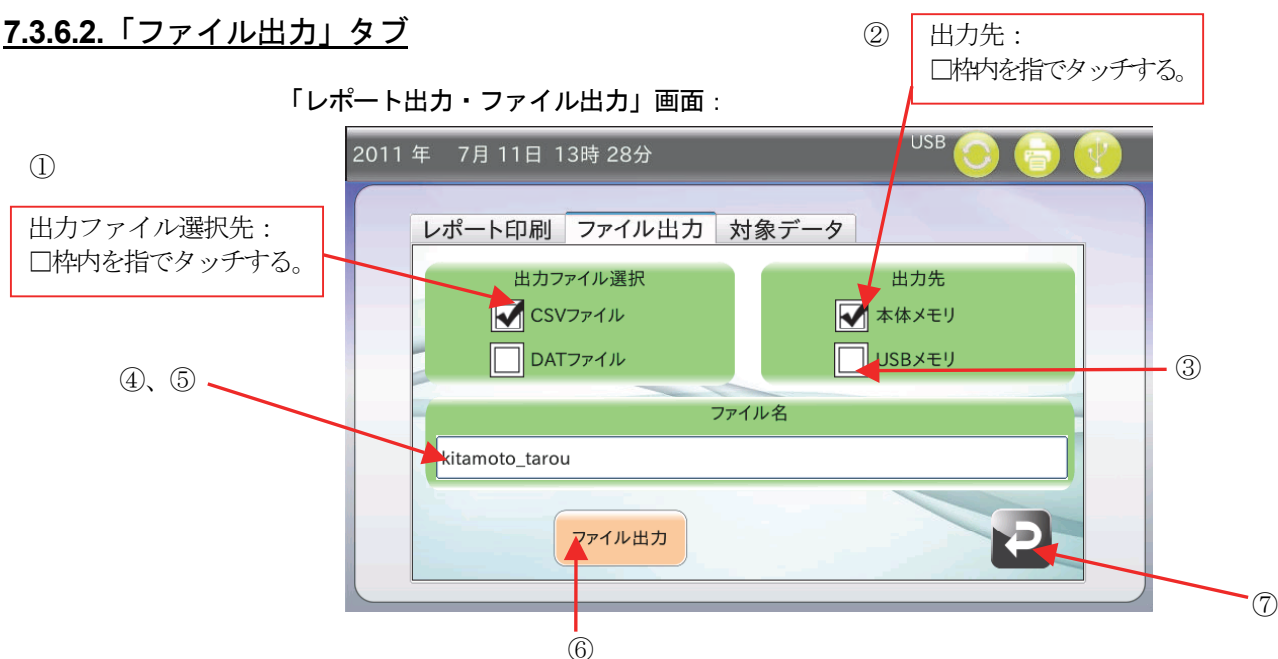
7.3.6.1.「レポート印刷」タブ

「レポート出力・レポート印刷」画面：

① 起床時間と就寝時間を設定してください。(デフォルト値は起床時間 7 時 00 分、就寝時間 22 時 00 分です。)

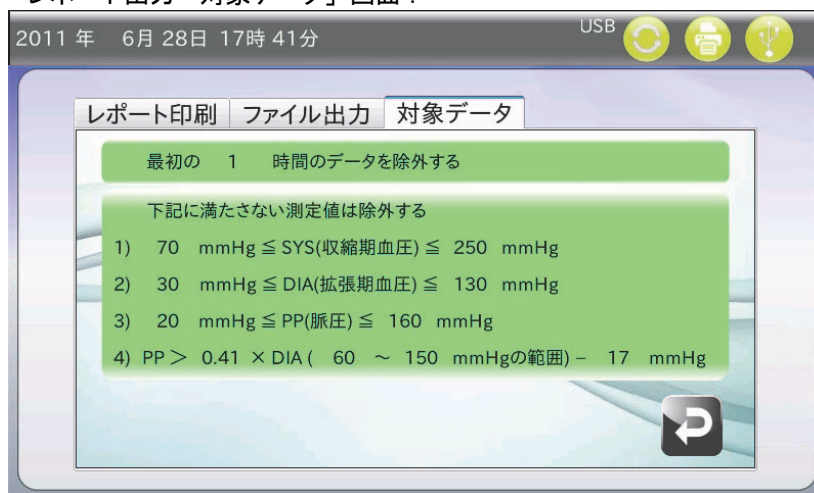
② レポート形式を選択してください。24 時間レポート、簡易レポート、フルレポートから選択できます。
(各レポートの詳細は「11. レポート印刷」を参照してください。)
③ 診察室収縮期血圧値を入力してください。入力されない場合、「リスト表示」画面上でのデータ番号#1 のデータを使用します。(この値は簡易レポートでのみ、使用します。)
④ 印刷部数を入力してください。最大値は 5 部です。
⑤ プリンタが接続されていると、「レポート印刷」キーが有効となり、設定されたレポートをプリンタから印刷します。
(プリンタの設定は「8.4. 本体設定」を参照してください。)
⑥ USB メモリが接続されていると、「PDF 出力」キーが有効となり、レポートを PDF ファイル形式で USB メモリに出力します。(USB メモリが接続されていない場合、「PDF 出力」キーは無効となり操作できません。)
⑦ 「リターン」キーをタッチすると「データ解析区間」画面へ戻ります。

7.3.6.2.「ファイル出力」タブ

「レポート出力・ファイル出力」画面：

① 出力ファイル形式を CSV ファイル、DAT ファイルから選択できます。選択する場合、文頭にある□枠内をタッチしてください。選択されると、□枠内に☑チェックマークが付きます。
② ファイルの出力先を本体メモリに選択します。選択する場合、文頭にある□枠内をタッチしてください。選択されると、□枠内に☑チェックマークが付きます。
③ USB メモリが接続されていると、出力先に「□USB メモリ」が選択可能となります。選択する場合、文頭にある□枠をタッチしてください。選択されると□枠内に☑チェックマークが付きます。 (USB メモリを接続していない場合、選択できません)
④ ファイル名を英数表記で入力します。(ファイル名は保存すると、末尾に自動的にタイムスタンプが付きます。)
⑤ ファイル名の白枠をタッチすると、「英数入力」ダイアログが表示されます。
(10.5. 英数入力を参照してください。)
ファイルの名前を入力して「ENT」キーをタッチして名前を確定してください。
⑥ 上記の設定が終了したら、「ファイル出力」キーをタッチしてください。ファイルが出力されます。
⑦ 「リターン」キーをタッチすると「データ解析区間」画面へ戻ります。

⚠注意	
	■ 本機では本体メモリにデータを保存できますが、データの消失・削除に伴う損害が発生する可能性があります。必ず測定データのバックアップを行ってください。

7.3.6.3.「対象データ」タブ

「レポート出力・対象データ」画面：

① 除外対象データの設定を確認します。
　（除外対象データの設定は、「8.6. 対象データ」を参照してください。）
② 未対応の設定は、文字が灰色で表記されます。
③「リターン」キーをタッチすると「データ解析区間」画面へ戻ります。

7.4. けんさの準備

「けんさの準備」アイコンは、血圧計（TM-243 シリーズ）専用の機能設定です。
けんさの準備では血圧計（TM-243 シリーズ）の測定条件設定や、データの削除を行います。

7.4.1. 血圧計設定

⚠注意	
!	■「けんさの準備」アイコンをタッチすると、血圧計（TM-243 シリーズ）に下記項目を設定し、同時に血圧計（TM-243 シリーズ）の測定データを削除します。測定データは復帰できませんのでご注意ください。 必ず測定データの解析を完了してから「けんさの準備」を行ってください。 ■ 大切なデータは、削除する前にパソコン等に保存してください。 ■ 血圧計（TM-243 シリーズ）を新しい被検者に取り付ける場合、必ず測定データを削除してください。

「ホーム」画面において「けんさの準備」アイコンをタッチすると、「血圧計設定（TM-243 シリーズ）」画面になります。

「血圧計設定（TM-243 シリーズ）」画面：

「設定」キー

① 血圧計（TM-243 シリーズ）と接続してください。

② レコーダ ID 設定では、白枠をタッチすると、「数値入力」ダイアログが表示されます。
（「10.1. 数値入力」を参照してください。）
99 までの数字を入力します。入力後、「ENT」キーをタッチしてレコーダ ID を確定してください。

③ 測定値表示設定では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。
（「10.2. プルダウン選択」を参照してください。）
ON/OFF を選択することで、血圧測定後に測定値を表示するかを設定します。選択後、「OK」キーをタッチして測定値表示を確定してください。

④ 測定間隔（分）設定では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。
TM243 シリーズの測定間隔をモード 1、モード 2、5、10、15、20、30、60、120、マニュアル設定から選択できます。選択後、「OK」キーをタッチして測定間隔を確定してください。

※ 測定間隔（分）設定で使用するモードについて説明します。
モード 1： 7:00～21:59 までは 15 分毎に測定します。
22:00～6:59 までは 30 分毎に測定します。
モード2： 起床時、就寝時に「AUTO ON/OFF」キーを押し、睡眠中の測定間隔を変更し睡眠区間を区別します。
スリープボタンOFF（消灯）で15分毎の測定、スリープボタンON（点灯）で30分毎の測定になります。
マニュアル： 24 時間を 6 つの区間に分け、各々の時間帯の測定間隔を自由に設定します。
※ マニュアルについては「8.3. 測定パターン」で詳細確認および設定・変更ができます。

⑤ 測定間隔（分）設定欄をタッチすると、「TM-243 シリーズ設定確認」画面へ移行します。

⑥ 日付設定・時計設定では、白枠をタッチすると、「数値入力」ダイアログが表示されます。
（「10.1. 数値入力」を参照してください。）
血圧計の時計を設定します。選択後、「ENT」キーをタッチして日付・時計設定を確定してください。

⑦「設定」キーをタッチすると設定が血圧計へ反映され、「データクリア」画面へ移行します。

⑧「リターン」キーをタッチすると、変更した設定はクリアされ「ホーム」画面へ戻ります。

※ UA-767PC 接続時は「リターン」キー以外は操作できません。

項目	説明
レコーダ ID 設定	電源起動時は「1」です。 TM-243 シリーズ接続時は血圧計に登録されている ID が表示されます。
測定値表示設定	電源起動時は「ON」です。 「OFF」にする場合は、その都度変更してください。
測定間隔（分）設定	初期値は「モード 1」です。 設定変更後は、その設定を保持します。
時計設定	本体日時を表示します。

7.4.2.　データクリア

注意

- 「データクリア」すると、血圧計の測定データは削除され復帰できませんのでご注意ください。必ず測定データの解析を完了してから「データクリア」を行ってください。また、大切なデータは、事前にパソコン等に保存してください。
- 血圧計を新しい被検者に取り付ける場合、必ず測定データを削除してください。

「血圧計設定（TM-243 シリーズ）」画面、「血圧計設定」画面（8.1　血圧計設定）において「設定」キーをタッチすると、「データクリア」画面になります。

「データクリア」画面：

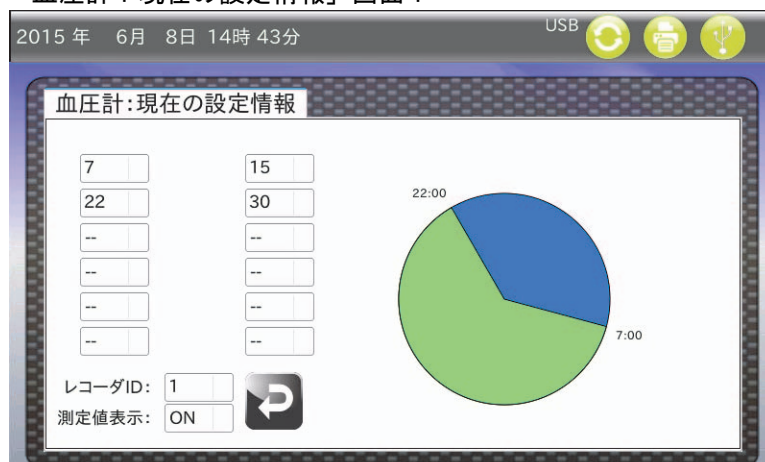
① 「破棄」キーをタッチすると、データクリア確認ダイアログが表示されます。ここで「はい」を選択すると（「いいえ」を選択すると「データクリア」画面に戻ります）、「血圧データを消去中」と記載されたポップアップが表示され、血圧計内に保存されている測定データが全て削除されます。全てのデータが消去し終わると、上記のポップアップが「血圧データを消去しました」へと変化し、データの削除音が鳴動します。

② ポップアップが消えると自動的に「ホーム」画面へ戻ります。

③ 「リターン」キーをタッチすると、データはクリアされずに「血圧計設定（TM-243 シリーズ）」画面へ戻ります。

7.4.3.　血圧計設定確認

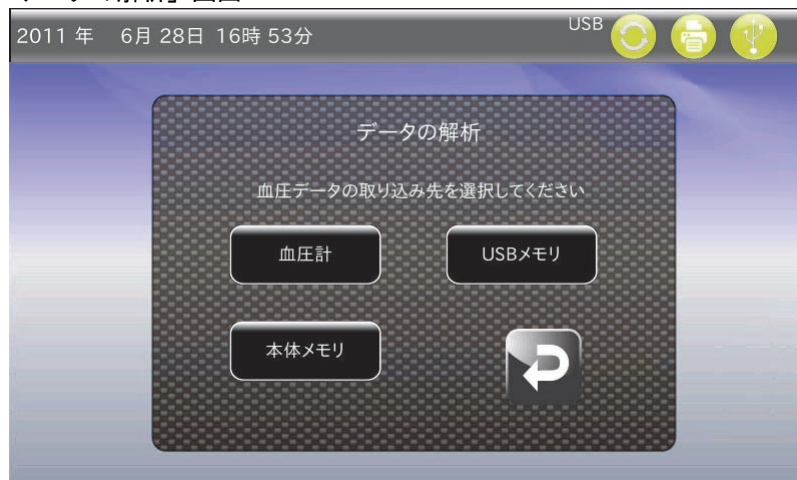
「血圧計設定（TM-243 シリーズ）」画面において、測定間隔（分）設定欄をタッチすると、「血圧計：現在の設定情報」画面になります。

「血圧計：現在の設定情報」画面：

① 接続されている血圧計の現在の設定情報を表示します。

② 「リターン」キーをタッチすると、「血圧計設定（TM-243 シリーズ）」画面へ戻ります。

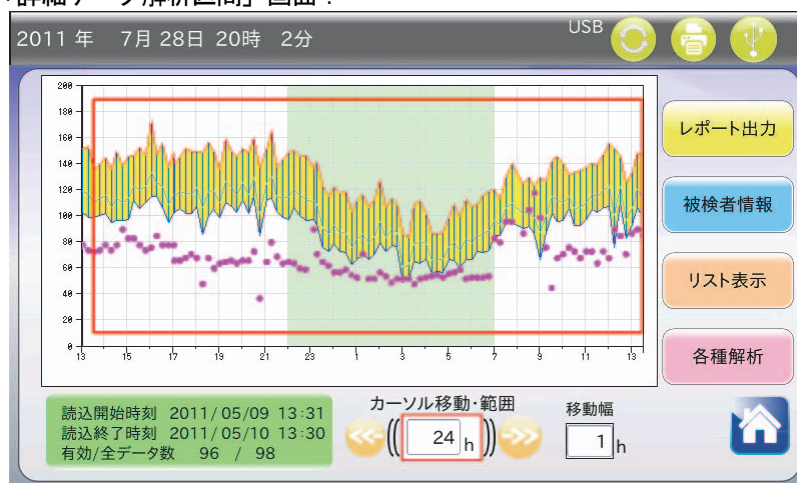
7.5.　詳細解析

「ホーム」画面において「詳細解析」アイコンをタッチすると、「データの解析」画面になります。

「データの解析」画面：

① 「データの解析」画面では、本体メモリやUSB メモリに保存されたCSV・DAT ファイルデータを読み取り解析します。
・CSV ファイルデータ　　Dr.Pro3 で読み込むことができる血圧データ形式。除外情報を保存できます。
・DAT ファイルデータ　　TM-2430-15、Dr.Pro3 で読み込むことができる血圧データ形式。EV 情報を保存できます。

② 「かんたん解析」のように血圧計からもデータを読み取ることができます。
・［血圧計］：　TM-243 シリーズやUA-767PC に保存されている血圧データファイルから、データを読み込みます。
（本機に通信ケーブルで血圧計が接続されていると［血圧計］が選択可能となります。）
・［USB メモリ］：USB メモリに保存されている血圧データファイルから、データを読み込みます。
（本機に USB メモリが接続されていると［USB メモリ］が選択可能となります。）
・［本体メモリ］：本体メモリに保存されている血圧データファイルから、データを読み込みます。

7.5.1.　血圧計　［データの解析］

「詳細データ解析区間」画面：

・「7.3. かんたん解析」と基本的には同様です。
・「データ解析区間」画面において、「各種解析」キーが追加されています。このキーをタッチすると、解析区間内のデータを計算した後、「各種解析」画面へ移行します。（「7.6. 各種解析」参照）

7.5.2. USBメモリ読取

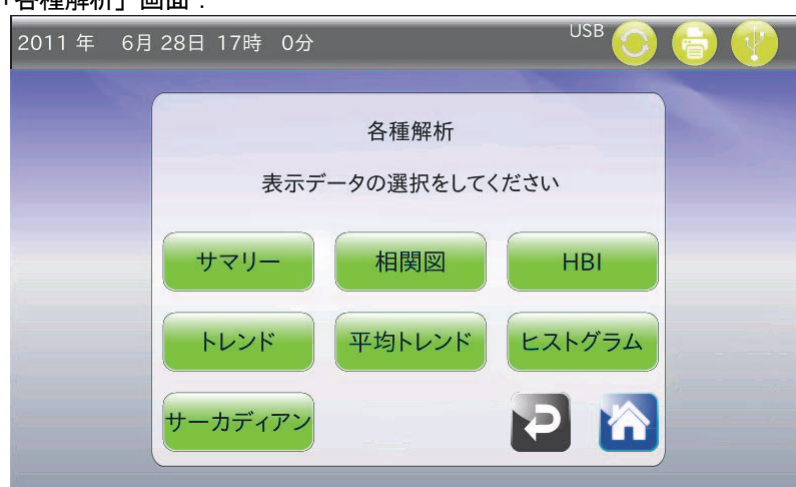
・USB メモリが接続されると、「データの解析」画面の「USB メモリ」キーが操作可能となります。
・USB メモリに保存された CSV・DAT ファイルから血圧データを読み込みます。

7.5.3. 本体メモリ読取

本体メモリに保存されている CSV・DAT ファイルから血圧データを読み込みます。

7.6. 各種解析

「データ解析区間」画面において「各種解析」キーをタッチすると、「各種解析」画面になります。

「各種解析」画面：

① 「各種解析」画面では、解析区間内のデータを用いて計算を行い、以下のグラフを描画印刷します。
- サマリーデータ
- 相関図
- HBI グラフ
- トレンドグラフ・トレンドリスト
- 平均トレンドグラフ・平均トレンドリスト
- ヒストグラム
- サーカディアンリズム

② 「リターン」キーをタッチすると「データ解析区間」画面へ戻ります。
③ 「ホーム」キーをタッチすると、ポップアップが表示されます。「はい」を選択すると、「ホーム」画面へ戻ります。

7.6.1. サマリー

7.6.1.1. 区間解析サマリー

「区間解析」タブをタッチすると表示されます。

「サマリーデータ・区間解析」画面：

7.6.1.2. 起床時間サマリー

「起床」タブをタッチすると表示されます。

「サマリーデータ・起床時間」画面：

7.6.1.3. 就寝時間サマリー

「就寝」タブをタッチすると表示されます。

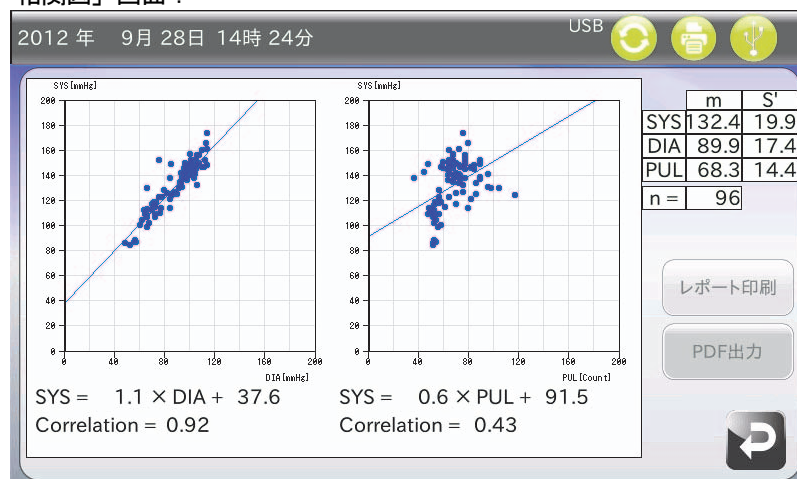
「サマリーデータ・就寝時間」画面：

① 「サマリーデータ」画面では、解析区間内の全データ、起床時間中のデータ・就寝時間中のデータに分けて数値を算出します。

- 最高血圧値の最小値・平均値・最大値・SD（標準偏差）・SE（標準誤差）・CV（変動係数）を算出します。
- 最低血圧値の最小値・平均値・最大値・SD（標準偏差）・SE（標準誤差）・CV（変動係数）を算出します。
- 平均血圧値の最小値・平均値・最大値・SD（標準偏差）・SE（標準誤差）・CV（変動係数）を算出します。
- 脈拍の最小値・平均値・最大値・SD（標準偏差）・SE（標準誤差）・CV（変動係数）を算出します。
- SYS/DIA しきい値として設定されたハイパーバリックしきい値を表記します。また、測定データにおいて、しきい値を越えたデータ数の割合を算出します。
- 最高血圧最大・最小値、最低血圧最大・最小値の値と測定日時を表記します。
- プリンタが接続されている場合、「レポート印刷」キーが操作可能になります。このキーをタッチするとプリンタより、サマリーデータが印刷されます。
- USB メモリが接続されている場合、「PDF 出力」キーが操作可能になります。このキーをタッチすると USB メモリへ、サマリーデータの PDF ファイルが出力されます。

② 「リターン」キーをタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。

7.6.2. 相関図

「相関図」画面：

① 「相関図」画面では、解析区間内のデータを用いて SYS と DIA、SYS と PUL を比較した散布図を描画します。

- この散布図のデータ群を用いて線形一次近似直線を描画します。
- 各グラフにおける近似直線式および相関係数を算出します。
- SYS、DIA、MAP の平均値、標準偏差を画面右上に表記します。
- 画面右上にデータ数を表記します。
- プリンタが接続されている場合、「レポート印刷」キーが操作可能になります。このキーをタッチするとプリンタより、相関図グラフが印刷されます。
- USB メモリが接続されている場合、「PDF 出力」キーが操作可能になります。このキーをタッチすると USB メモリへ、相関図グラフの PDF ファイルが出力されます。

② 「リターン」キーをタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。

7.6.3.　HBI

「HBI グラフ」画面：

① 「HBI グラフ」画面では上段にトレンドグラフとハイパーバリックしきい値、下段にトレンドグラフとハイポバリックしきい値を描画します。

- ハイパーバリックしきい値以上の値を示す領域とハイポバリックしきい値以下の値を示す領域を赤線で表記します。
- 上記の領域の面積を計算します。
- 設定された各しきい値を描画します。
- プリンタが接続されている場合、「レポート印刷」キーが操作可能になります。このキーをタッチするとプリンタより、HBI グラフが印刷されます。
- USB メモリが接続されている場合、「PDF 出力」キーが操作可能になります。このキーをタッチすると USB メモリへ、HBI グラフの PDF ファイルが出力されます。

② 「リターン」キー をタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。

7.6.4.　　トレンド

7.6.4.1. トレンドグラフ

「トレンドグラフ」画面：

7.6.4.2. トレンドリスト

「トレンドリスト」画面：

	測定日時	SYS	DIA	MAP	PUL	DP	EV
1	2011/05/09 13:45	140	101	114	74	10.3	
2	2011/05/09 14:00	145	102	116	78	11.3	
3	2011/05/09 14:15	136	95	108	74	10.0	
4	2011/05/09 14:30	150	97	114	78	11.7	
5	2011/05/09 14:45	139	97	111	90	12.5	
6	2011/05/09 15:00	146	98	114	83	12.1	
7	2011/05/09 15:15	147	112	123	83	12.2	
8	2011/05/09 15:30	153	106	121	78	11.9	
9	2011/05/09 15:45	147	111	123	74	10.8	
10	2011/05/09 16:00	174	115	134	76	13.2	

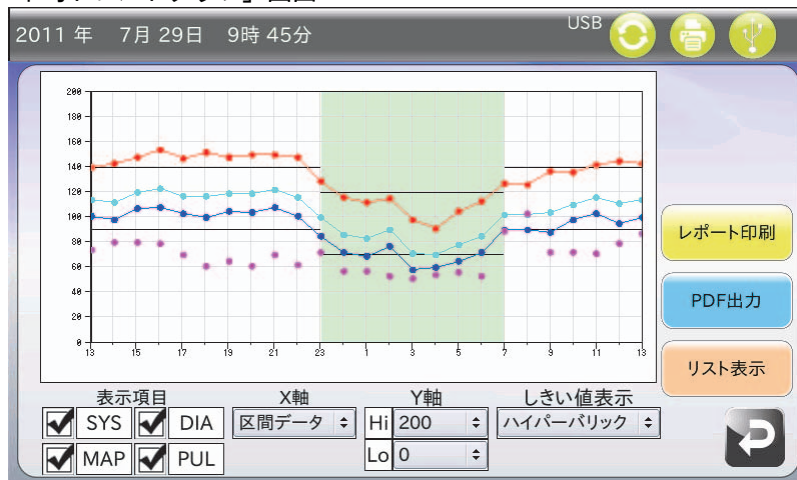
① 「トレンドグラフ」画面では SYS、DIA、PUL、MAP、DP のトレンドを描画します。
② 「トレンドリスト」画面では、データ番号・測定日時・SYS・DIA・MAP・PUL・DP・EV を表示します。

- 表示項目の各欄のチェックを外すと、グラフから除外します。
- トレンドグラフの X 軸を変更したい場合はグラフ下部の「X 軸」欄をタッチしてください。
- トレンドグラフの Y1 軸（mmHg・bpm）、Y2 軸（DP）を変更したい場合、上限値の場合は Hi を、下限値の場合は Lo をタッチしてください。
- 「リスト表示」キーをタッチすると、「トレンドリスト」画面へ移行します。
- プリンタが接続されている場合、「レポート印刷」キーが操作可能になります。「トレンドグラフ」画面表示時に、このキーをタッチするとプリンタより、画面設定を反映したトレンドグラフが印刷されます。「トレンドリスト」画面表示時はトレンドリストが印刷されます。
- USB メモリが接続されている場合、「PDF 出力」キーが操作可能になります。「トレンドグラフ」画面表示時に、このキーをタッチすると USB メモリへ、画面設定を反映したトレンドグラフが PDF ファイルより出力されます。「リスト」画面表示時はトレンドリストが出力されます。

③ 「リターン」キーをタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。

7.6.5. 平均トレンド

7.6.5.1. 平均トレンド

「平均トレンドグラフ」画面：

7.6.5.2. 平均リスト

「平均トレンドリスト」画面：

2011 年　7月 29日　9時 46分　USB

	測定日時	SYS	DIA	MAP	PUL	データ数
1	2011/05/09 13h	140	101	114	74	1
2	2011/05/09 14h	143	98	112	80	4
3	2011/05/09 15h	148	107	120	80	4
4	2011/05/09 16h	154	108	123	79	4
5	2011/05/09 17h	147	103	117	70	5
6	2011/05/09 18h	152	100	117	61	4
7	2011/05/09 19h	148	105	119	65	4
8	2011/05/09 20h	150	104	119	61	4
9	2011/05/09 21h	150	108	122	70	4
10	2011/05/09 22h	148	101	116	62	4

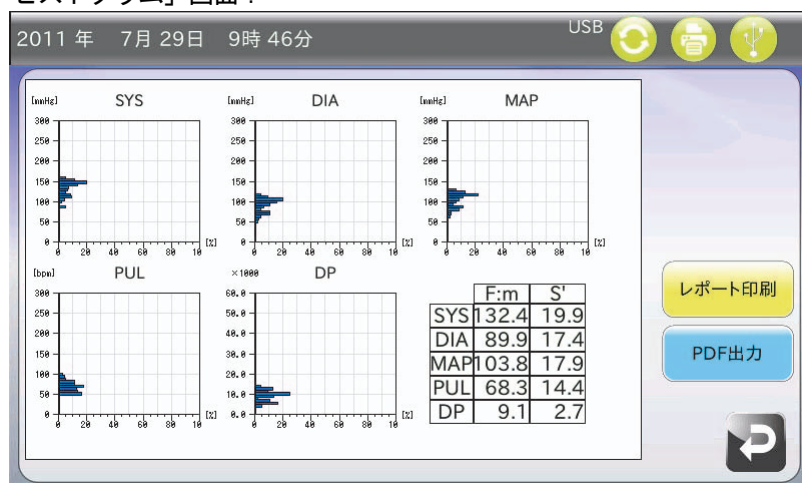
レポート印刷　PDF出力　グラフ表示

① 「平均トレンドグラフ」画面ではSYS、DIA、PUL、MAP の一時間ごとのデータを平均し、それらを平均トレンドグラフとして描画します。
② 「平均トレンドリスト」画面では、データ番号・測定日時_毎時・平均 SYS・平均 DIA・平均 MAP・平均 PUL・毎時のデータ数を表示します。

- 表示項目の各欄のチェックを外すと、グラフからその項目を除外します。
- 平均トレンドグラフの X 軸を変更したい場合はグラフ下部の「X 軸」欄をタッチしてください。
- 平均トレンドグラフの Y 軸（mmHg・bpm）を変更したい場合、上限値の場合は「Hi」を、下限値の場合は「Lo」をタッチしてください。
- ［しきい値表示］を設定します。□枠内をタッチすると「しきい値表示設定」画面に移行して「ハイパーバリック／ハイポバリック／なし」を選択できます。
- 「リスト表示」キーをタッチすると、「平均トレンドリスト」画面へ移行します。
- プリンタが接続されている場合、「レポート印刷」キーが操作可能になります。「平均トレンドグラフ」画面表示時に、このキーをタッチするとプリンタより、画面設定を反映した平均トレンドグラフが印刷されます。「平均トレンドリスト」画面表示時はトレンドリストが印刷されます。
- USB メモリが接続されている場合、「PDF 出力」キーが操作可能になります。「平均トレンドグラフ」画面表示時に、このキーをタッチすると USB メモリへ、画面設定を反映した平均トレンドグラフが PDF ファイルより出力されます。「平均トレンドリスト」画面表示時は平均トレンドリストが出力されます。

③ 「リターン」キーをタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。

7.6.6.　ヒストグラム

「ヒストグラム」画面：

① 「ヒストグラム」画面では SYS、DIA、MAP、PUL、DP の各値の分布を%表記で表示します。

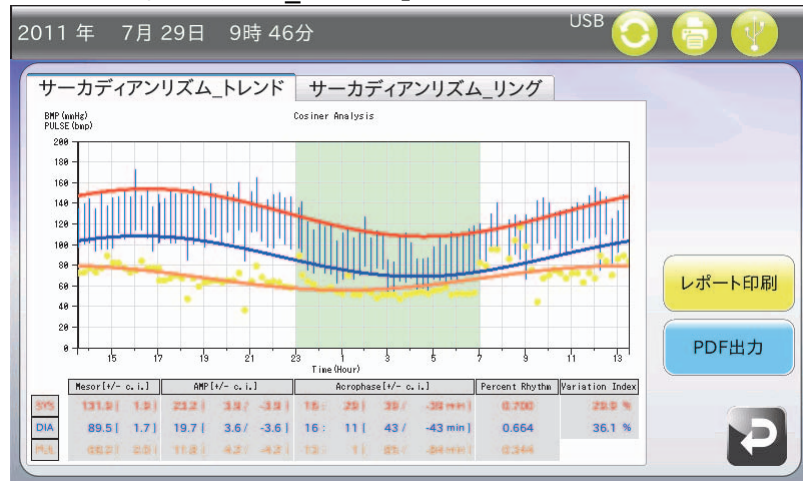
- SYS、DIA、MAP、PUL、DP の平均値、標準偏差を画面右下に表記します。
- プリンタが接続されている場合、「レポート印刷」キーが操作可能になります。このキーをタッチするとプリンタより、ヒストグラムが印刷されます。
- USB メモリが接続されている場合、「PDF 出力」キーが操作可能になります。このキーをタッチすると USB メモリへ、ヒストグラムが PDF ファイルより出力されます。

② 「リターン」キー をタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。

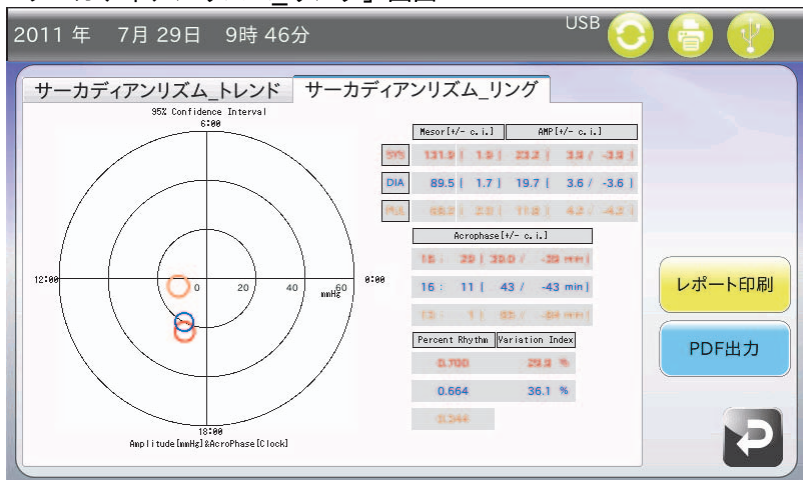
7.6.7.　サーカディアン

7.6.7.1. サーカディアンリズム_トレンド

「サーカディアンリズム_トレンド」タブをタッチすると表示されます。

「サーカディアンリズム_トレンド」画面：

7.6.7.2. サーカディアンリズム_リング

「サーカディアンリズム_リング」タブをタッチすると表示されます。

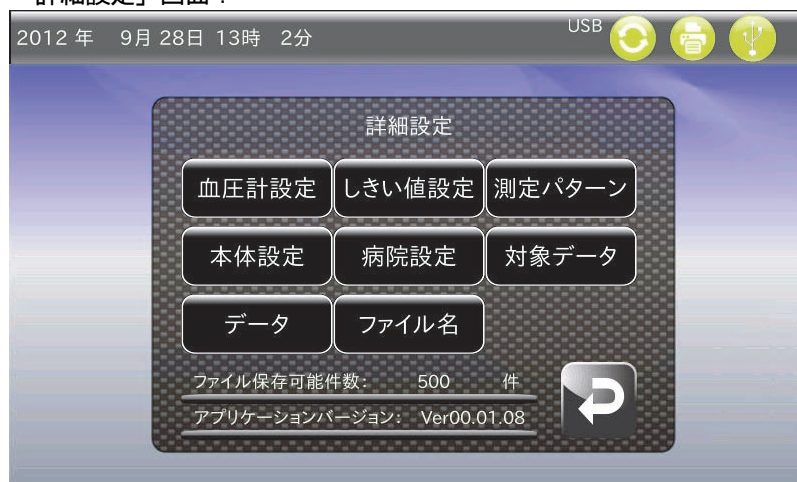
「サーカディアンリズム_リング」画面：

① 「サーカディアンリズム_トレンド」画面では SYS、DIA、PUL の各値のトレンドグラフと、コサインフィッティング法によって求められた最適余弦曲線を描画します。
② 「サーカディアンリズム_リング」画面ではシングルコサイナー法によって求められたメサー、振幅、位相の値とその誤差を用いて円グラフを描画します。

- SYS、DIA、PUL のメサー、振幅、位相とその誤差、Percent Rhythm、Variation Index を表示します。
- プリンタが接続されている場合、「レポート印刷」キーが操作可能になります。このキーをタッチするとプリンタより、サーカディアンリズムが印刷されます。
- USB メモリが接続されている場合、「PDF 出力」キーが操作可能になります。このキーをタッチすると USB メモリへ、サーカディアンリズムが PDF ファイルより出力されます。

③ 「リターン」キーをタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。

8.　設定

「ホーム」画面において「設定」アイコンをタッチすると「詳細設定」画面になります。

「詳細設定」画面：

「詳細設定」画面では、血圧データ解析で用いる各種設定値や、本体設定値などの登録を行います。登録できる項目は以下のとおりです。

- 血圧計設定
- しきい値設定
- 測定パターン
- 本体設定
- 病院設定
- 対象データ
- データ
- ファイル名

①　予測ファイル保存件数は、本体メモリに保存できるファイル件数の推定値です。

②　アプリケーションバージョンは、本機のバージョン情報を表示します。

③　「リターン」キーをタッチすると「ホーム」画面へ戻ります。

8.1.　　　　血圧計設定

⚠注意	
	■　「血圧計設定」キーをタッチすると、血圧計に下記項目を設定し、同時に血圧計の測定データを削除します。測定データは復帰できませんのでご注意ください。。 必ず測定データの解析を完了してから「血圧計設定」を行ってください。 ■　大切なデータは、削除する前ににパソコン等に保存してください。 ■　血圧計を新しい被検者に取り付ける場合、必ず測定データを削除してください。

「血圧計設定」画面では TM-243 シリーズや UA-767PC の時計や測定項目を設定します。

「血圧計設定」画面：

「設定」キー

① TM-243 シリーズか、UA-767PC と接続してください。

② レコーダ ID 設定では、白枠をタッチすると、「数値入力」ダイアログが表示されます。
（「10.1. 数値入力」を参照してください。）
99 までの数字を入力します。入力後、「ENT」キーをタッチしてレコーダ ID を確定してください。
UA-767PC 接続時は操作できません。

③ 測定値表示設定では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。
（「10.2. プルダウン選択」を参照してください。）
ON/OFF を選択することで、血圧測定後に測定値を表示するかを設定します。選択後、「OK」キーをタッチして測定値表示を確定してください。
UA-767PC 接続時は操作できません。

④ ブザー設定では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。
（「10.2. プルダウン選択」を参照してください。）
UA-767PC のブザー設定をパターン A、パターン B、マニュアル、OFF 設定から選択できます。選択後、「OK」キーをタッチしてブザー設定を確定してください。
TM-243 シリーズ接続時は操作できません。

⑤ 測定間隔（分）設定では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。
（「10.2. プルダウン選択」を参照してください。）
TM243 シリーズの測定間隔をモード 1、モード 2、5、10、15、20、30、60、120、マニュアル設定から選択できます。選択後、「OK」キーをタッチして測定間隔を確定してください。
UA-767PC 接続時は操作できません。

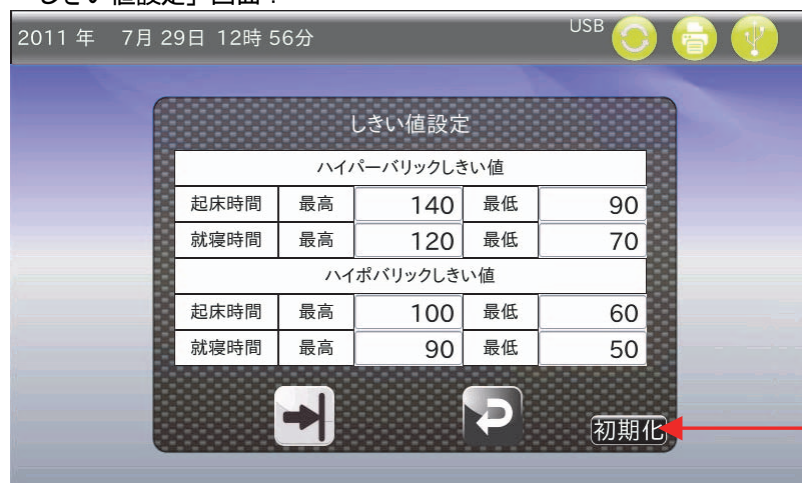
※　測定間隔（分）設定で使用するモードについて説明します。

モード１：　7:00～21:59 までは 15 分毎に測定します。
　　　　　　22:00～6:59 までは 30 分毎に測定します。

モード2：　起床時、就寝時に「AUTO ON/OFF」キーをタッチし、睡眠中の測定間隔を変更し睡眠区間を区別します。スリープボタンOFF（消灯）で15分毎の測定、スリープボタンON（点灯）で30分毎の測定になります。

マニュアル：24 時間を 6 つの区間に分け、各々の時間帯の測定間隔を自由に設定します。
　　　　　　※　マニュアルについては「8.3. 測定パターン」で詳細確認および設定・変更ができます。

⑥　測定間隔(分)設定ボタンをタッチすると、測定パターン画面へ移行します。

⑦　日付設定・時計設定では、白枠をタッチすると、「数値入力」ダイアログが表示されます。
　（「10.1. 数値入力」を参照してください。）
　血圧計の時計を設定します。選択後、「ENT」キーをタッチして日付・時計設定を確定してください。

⑧　「設定」キーをタッチすると設定が血圧計へ反映され、「データクリア」画面へ移行します。

⑨　「リターン」キーをタッチすると、変更した設定はクリアされ「ホーム」画面へ戻ります。

8.2.　しきい値設定

「しきい値設定」画面では、解析やグラフ描画時に使用するハイパーバリックしきい値とハイポバリックしきい値を設定します。

「しきい値設定」画面：

2011 年　7月 29日　12時 56分　USB

しきい値設定

ハイパーバリックしきい値				
起床時間	最高	140	最低	90
就寝時間	最高	120	最低	70

ハイポバリックしきい値				
起床時間	最高	100	最低	60
就寝時間	最高	90	最低	50

初期化

「初期化」キー

①　各欄をタッチすると、「数値入力」ダイアログが表示されます。（「10.1. 数値入力」を参照してください。）
　設定値の最大値は 300（mmHg）です。

②　「登録」キーをタッチすると、変更値は保存されます。登録完了後「詳細設定」画面へ戻ります。

③　「リターン」キーをタッチすると、変更値は保存されず「詳細設定」画面へ戻ります。

④　「初期化」キーをタッチすると、ポップアップが表示されます。
　「はい」をタッチすると、設定値が初期設定値へ戻ります。「登録」キーをタッチして変更値を保存してください。
　登録完了後「詳細設定」画面へ戻ります。

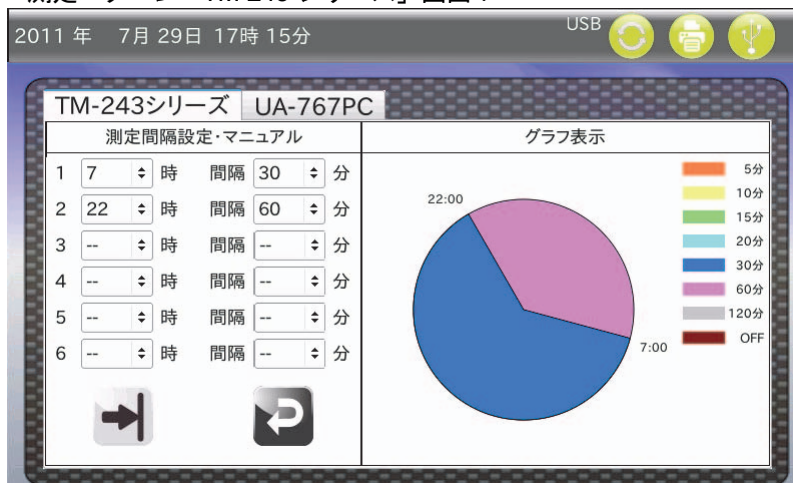
8.3.　　　　測定パターン

「測定パターン」画面では、「血圧計設定」画面時に使用する測定間隔設定やブザー設定での「マニュアル」を登録します。

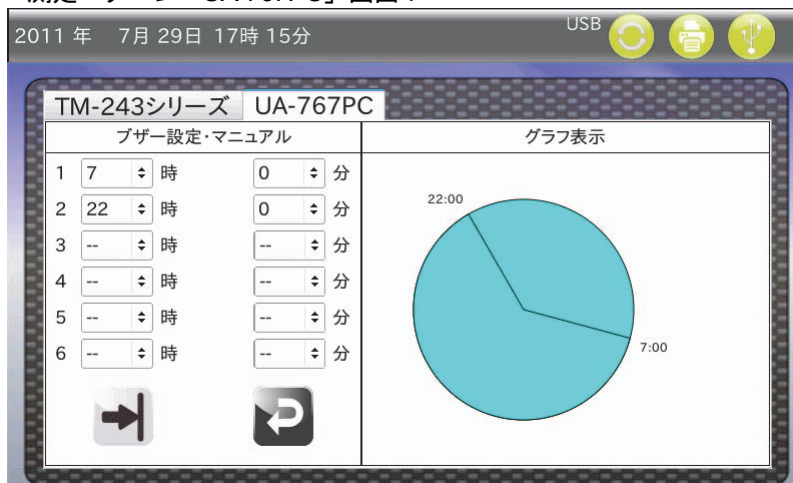
- 「TM-243 シリーズ」タブでは、測定間隔設定のマニュアルを設定します。
- 「UA-767PC」タブでは、ブザー設定のマニュアルを設定します。

8.3.1.　　TM-243シリーズ

「TM-243 シリーズ」タブをタッチすると表示されます。

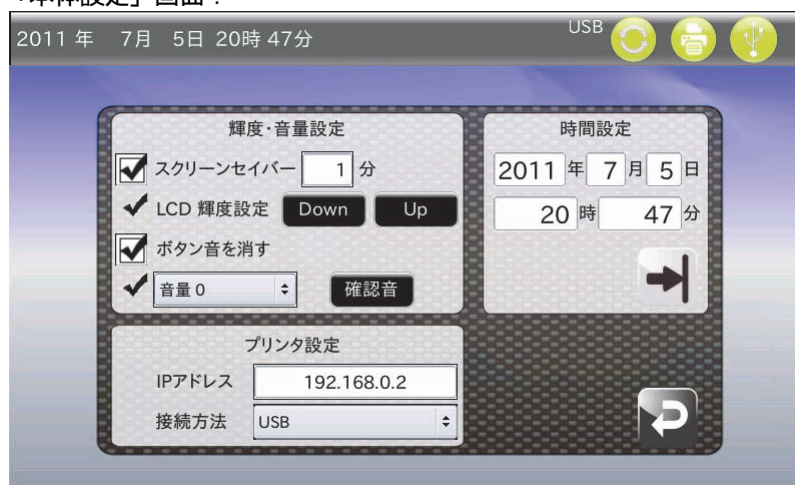
「測定パターン・TM-243 シリーズ」画面：

8.3.2.　　UA-767PC

「UA-767PC」タブをタッチすると表示されます。

「測定パターン・UA-767PC」画面：

① 時刻と測定間隔はプルダウンで設定します。白枠をタッチしてください。「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。（「10.2. プルダウン選択」を参照してください。）
② 時刻設定は昇順で行ってください。
昇順でない場合は、登録時に自動的にソートされます。
③ 選択できる測定間隔は 5 分、10 分、15 分、20 分、30 分、60 分、120 分です。また、血圧測定を行わない OFF 設定も選択することができます。
④ 設定された測定間隔やブザー設定は右側の円グラフで視覚的に表示されます。
⑤ 「登録」キー をタッチすると、設定が反映されます。登録完了後「詳細設定」画面へ戻ります。
⑥ 「リターン」キー をタッチすると、変更した設定値はクリアされ「詳細設定」画面へ戻ります。

8.4.　本体設定

「本体設定」画面では、輝度・音量設定、時間設定、プリンタ設定を本機に登録します。
本機に設定を登録することにより、次回の血圧計への設定時に、同じ内容を送信します。

「本体設定」画面：

① 「輝度・音量設定」欄では、スクリーンセーバーの ON/OFF、および起動時間を設定します。また、LCD の輝度設定、ボタン音の ON/OFF（チェックマーク）設定、音量設定を行います。
スクリーンセーバーを使用する場合は、文頭にある□枠内をタッチしてください。選択されると、□枠内に☑チェックマークが付きます。
スクリーンセーバー起動時間を設定する場合は文末の白欄をタッチしてください。数値入力ダイアログが表示されます。（「10.1. 数値入力」を参照してください。）
数値を入力後、「ENT」キーをタッチしてください。白欄に数値が入力され、変更が反映されます。

② LCD 輝度設定では「Down」キーをタッチするごとに LCD の輝度を下げます。また「Up」キーをタッチするごとに輝度を上げます。

③ ボタン音設定ではボタン音の ON/OFF（チェックマーク）を設定します。ボタン音を消す場合は、文頭にある□枠内をタッチしてください。選択されると、□枠内に☑チェックマークが付きます。

④ 音量設定では、スライドショーや、起動音、エラー音の音量を設定します。文頭の白欄をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。任意の音量を選択してください。
（「10.2. プルダウン選択」を参照してください。）
また、「確認音」キーをタッチすると変更音量による起動音を確認することができます。

⑤ 「時間設定」欄では本体日時を設定します。各欄をタッチすると、「数値入力」ダイアログが表示されます。
（「10.1. 数値入力」を参照してください。）
日時を入力後、「ENT」キーをタッチしてください。白欄に数値が入力されます。
日時を入力後、「登録」キーをタッチすると、時間設定の変更値が反映されます。

⑥ 専用プリンタを LAN で使用する場合は、本機でプリンタの IP アドレスを設定する必要があります。「プリンタ設定」欄の「IP アドレス」に、LAN 接続時のオプション専用プリンタの IP アドレスを設定してください。
「IP アドレス」欄をタッチすると、「IP アドレス入力」ダイアログが表示されます。
IP アドレスを入力後、ダイアログの「ENT」キーをタッチすると、設定が反映されます。
（「10.4. IP アドレス入力」を参照してください。）

⑦ プリンタと LAN もしくは USB で接続するかを「プルダウン選択」ダイアログで選択できます。
（「10.2. プルダウン選択」を参照してください。）

⑧ 「リターン」キーをタッチすると、「詳細設定」画面へ戻ります。「時間設定」欄の「登録」キーをタッチする前に「リターン」キーをタッチすると、時間設定の変更は反映されません。

8.5. 病院設定

「病院情報設定」画面では、レポートに記載する病院名、住所、電話番号を登録します。

「病院情報設定」画面：

① 各項目の白欄をタッチすると「全角かな入力」ダイアログが表示されます。病院情報を入力してください。
（「10.6. 全角かな入力」を参照してください。）

② TEL 欄のみ、「TEL 入力」ダイアログが表示されます。電話番号を入力してください。
（「10.7. TEL 入力」を参照してください。）

③ 「登録」キーをタッチすると、変更値が反映されます。

④ 「リターン」キーをタッチすると、変更値はクリアされ「詳細設定」画面へ戻ります。

8.6.　　対象データ

「データ解析区間」設定時に、計算結果の算出からあらかじめ除外しておくデータの範囲を登録します。

「対象データ」画面：

① 測定開始時からのデータを時間単位で除外するか ON/OFF（チェックマーク）で選択できます。文頭にある□枠内をタッチしてください。選択されると、□枠内に☑チェックマークが付きます。
また、数値入力にて、上記時間単位を変更します。白欄をタッチすると「数値入力」ダイアログが表示されます。除外時間を入力してください。
(「10.1. 数値入力」を参照してください。)

② 異常値対応として、SYS、DIA、PUL および脈圧のしきい値を設定します。各項目の白欄をタッチすると、「数値入力」ダイアログが表示されます。しきい値を入力してください。
(「10.1. 数値入力」を参照してください。)
また、異常値対応の設定を ON/OFF（チェックマーク）選択できます。文頭にある□枠内をタッチしてください。選択されると、□枠内に☑チェックマークが付きます。

③ 「登録」キーをタッチすると、変更値が反映されます。

④ 「リターン」キーをタッチすると、変更値はクリアされ「詳細設定」画面へ戻ります。

⑤ 「初期化」キーをタッチすると、ポップアップが表示されます。
「はい」をタッチすると、設定値が初期設定値へ戻ります。「登録」キーをタッチして変更値を保存してください。

8.7.　　データ

- データ削除すると、消去されたデータは復帰できません。必要なデータは、必ず事前にパソコンなどにデータ保存を行ってからデータ削除を行ってください。
- USB メモリをフォーマットすると、USB メモリに保存されている全てのデータが消去されます。消去されたデータは復帰できませんので、必要なデータは、事前にパソコンなどにデータ保存を行ってからフォーマットを行ってください。

本体メモリや USB メモリに保存されている血圧データファイルを操作します。また、USB メモリの強制フォーマットを行います。

「データの管理」画面：

① 「CSV 全件削除」欄の「本体」キーを選択すると、本体メモリ内の CSV ファイルを全件削除します。
- USB メモリが接続されていると、「CSV 全件削除」欄の「USB」キーが操作可能になります。
  このキーを選択すると、USB メモリ内の CSV ファイルを全件削除します。

② 「DAT 全件削除」欄の「本体」キーを選択すると、本体メモリ内の DAT ファイルを全件削除します。
- USB メモリが接続されていると、「DAT 全件削除」欄の「USB」キーが操作可能になります。
  このキーを選択すると、USB メモリ内の DAT ファイルを全件削除します。

③ 「1 件削除」欄では、メモリ内の CSV ファイルと DAT ファイルを削除します。
- 「本体」キーを選択すると、本体メモリ内のファイルに対して「ファイル選択」ダイアログが表示されます。
  削除したいファイルを選択後、「削除」キーをタッチしてください。該当ファイルが削除されます。
- 「USB」キーを選択すると、USB メモリ内のファイルに対して「ファイル選択」ダイアログが表示されます。
  削除したいファイルを選択後、「削除」キーをタッチしてください。該当ファイルが削除されます。
  （「10.3. ファイル選択」を参照してください。）

④ 「本体→USB コピー」欄では、本体メモリ内の CSV ファイルと DAT ファイルを USB メモリへコピーします。（USB メモリが接続されていると、「CSV」、「DAT」、「1 件」キーが操作可能になります。）
- 「CSV」キーを選択すると、本体メモリ内の CSV ファイルを全て USB メモリにコピーします。
- 「DAT」キーを選択すると、本体メモリ内の DAT ファイルを全て USB メモリにコピーします。
- 「1 件」キーを選択すると、本体メモリ内のファイルに対して「ファイル選択」ダイアログが表示されます。
  コピーしたいファイルを選択後、「コピー」キーをタッチしてください。該当ファイルがコピーされます。
  （「10.3. ファイル選択」を参照してください。）

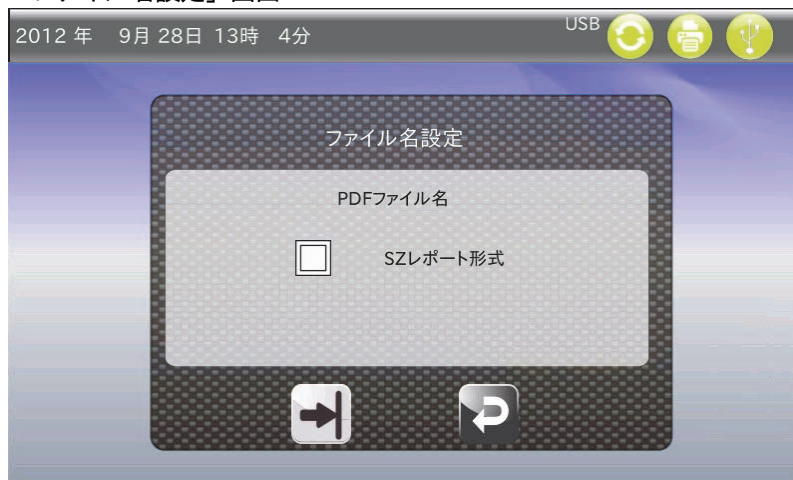
⑤ 「USB→本体コピー」欄では、USB メモリ内のファイルを本体メモリへコピーします。（USB メモリが接続されていると、「1 件」キーが操作可能になります。）
- 「1 件」キーを選択すると、USB メモリ内のファイルに対して「ファイル選択」ダイアログが表示されます。
  コピーしたいファイルを選択後、「コピー」キーをタッチしてください。該当ファイルがコピーされます。
  （「10.3. ファイル選択」を参照してください。）

⑥ 「USB フォーマット」欄では接続されている USB メモリを強制フォーマットします。
- 「実行」キーをタッチすると、確認ポップアップが表示されます。「はい」をタッチしてください。
  フォーマットが開始されます。
- 「いいえ」をタッチした場合はフォーマットは行われず、「データ管理」画面へ戻ります。

⑦ 「リターン」キーをタッチすると、設定「詳細画面」へ戻ります。

8.8. ファイル名

「ファイル名設定」画面では、出力する PDF ファイル名を「通常形式」と「SZ レポート形式」から選択できます。

「ファイル名設定」画面：

- 通常形式： print_YYYYMMDDHHMMSS.pdf
- SZ レポート形式：被検者 ID~yyyymmddhhmm~ABPM.pdf

※ ファイル名に付加されるタイムスタンプの時刻は、通常形式（YYYYMMDDHHMMSS）の場合はファイル出力時の日時であり、SZ レポート形式（yyyymmddhhmm）の場合は、1 回目の測定データの日時です。

① 出力するファイル名を SZ レポート形式にする場合には、文頭にある□枠内をタッチしてください。
選択されると、□枠内に☑チェックマークが付きます。

② 「登録」キーをタッチすると、変更値は保存されます。登録完了後「詳細設定」画面へ戻ります。

③ 「リターン」キーをタッチすると、変更値は保存されず、「詳細設定」画面へ戻ります。

9.　トリセツ

「ホーム」画面において「トリセツ」アイコンをタッチすると、「トリセツ」画面になります。
「トリセツ」画面では、本機や各血圧計の取扱説明書等を USB メモリへコピーしたり、スライドショーにて本機や血圧計の使用方法を説明します。

「トリセツ」画面：

9.1.　取扱説明書ファイルのコピー

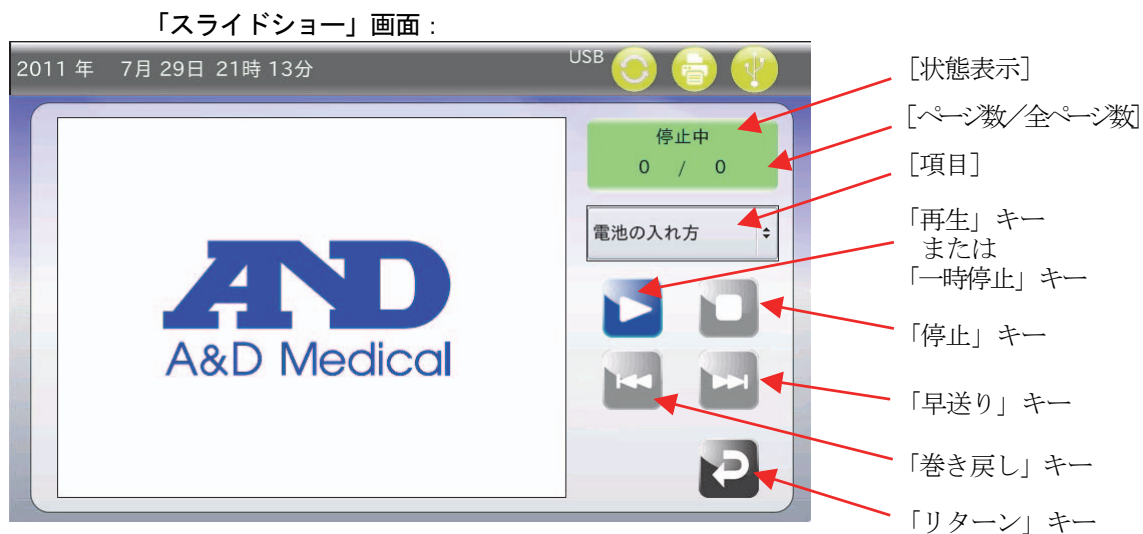
取扱説明書のデータは、本機の本体メモリに保存されています。取扱説明書を閲覧する場合、下記の手順で USB メモリにファイルをコピーして、お手持ちの PC でファイルを開いて閲覧ください。

① USB メモリが接続されていると、「取扱説明書」キーが操作可能となります。

② 「取扱説明書」キーをタッチすると、「ファイル選択」ダイアログが表示されます。
- TM-2485 取扱説明書（ファイル名：TM-2485.pdf）
- TM-243 シリーズ取扱説明書（ファイル名：TM-243.pdf）
- UA-767PC 取扱説明書（ファイル名：UA-767PC.pdf）
- 行動記録表（ファイル名：action_record_sheet.pdf）

以上の PDF ファイルを選択できます。ファイルを選択後、「コピー」キーをタッチしてください。USB メモリにファイルがコピーされます。
（「10.3. ファイル選択」を参照してください。）

9.2.　　　　スライドショー

本機の操作方法や血圧計の装着方法について説明を行います。

「スライドショー」画面：

① プルダウンで項目を選択してください。

② 「再生」キー をタッチするとスライドショーが流れます。スライドショー再生中は「一時停止」キー に変化し、「早送り」キー・「巻き戻し」キー、「停止」キーが操作可能になります。

③ 「早送り」キー をタッチすると、スライドショーが次ページに移動します。
「巻き戻し」キー をタッチすると前ページに移動します。

④ 「停止」キー をタッチすると、スライドショーの再生が終了します。

⑤ 「リターン」キー をタッチすると「トリセツ」画面へ戻ります。

⑥ 音量は固定です。（音量の設定は、「8.4. 本体設定」を参照してください。）

10. ダイアログ（英数字、全角入力および詳細設定画面）

10.1. 数値入力

本機において数値入力を行う際、「数値入力」ダイアログが表示されます。

「数値入力」ダイアログ：

① 「BS」キーをタッチすると、カーソル直前の文字が削除されます。

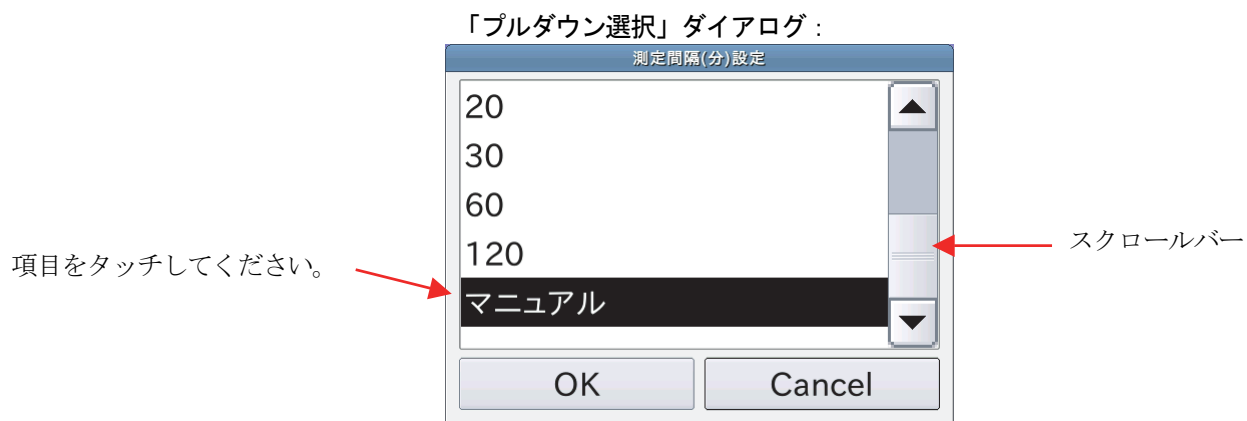
② 「CLR」キーをタッチすると、入力されている数値全てが削除されます。

③ 「ESC」キーをタッチすると、入力された数値を反映せず、ダイアログから抜け出せます。

④ 数値を入力後、「ENT」キーをタッチしてください。入力した数値が反映されます。

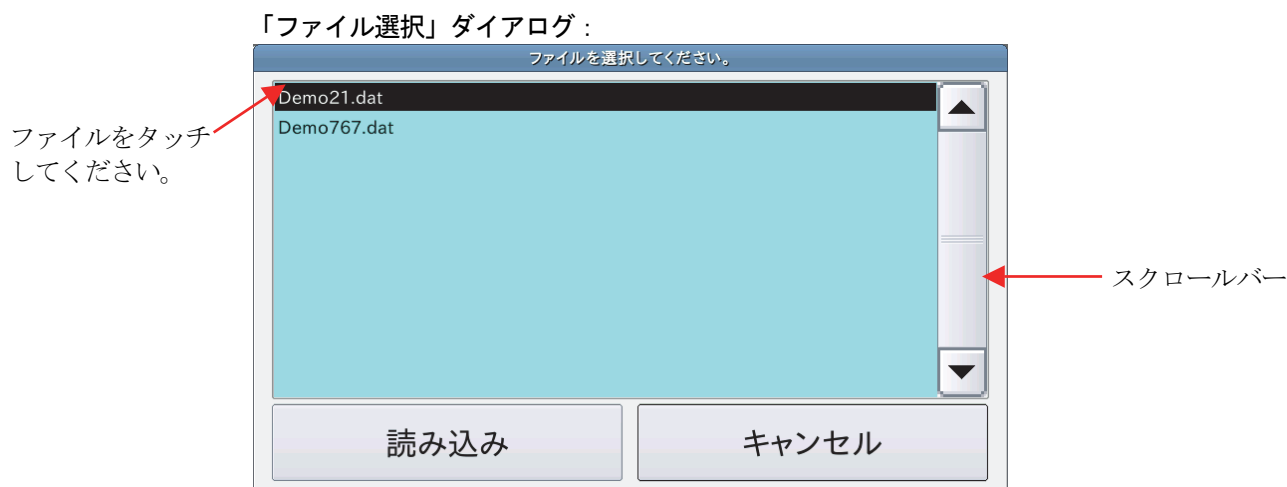
10.2. プルダウン選択

本機において項目選択を行う際、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。

「プルダウン選択」ダイアログ：

① 項目を選択後、「OK」キーをタッチしてください。選択した項目が反映されます。

10.3. ファイル選択

本機においてファイル選択を行う際、「ファイル選択」ダイアログが表示されます。

「ファイル選択」ダイアログ：

① ファイルを選択後、「読み込み」キーをタッチしてください。選択したファイルが読み込まれます。

10.4. IPアドレス入力

ネットワーク上の専用プリンタの IP アドレス設定時に行います。
専用プリンタの IP アドレスを設定してください。

「IP アドレス入力」ダイアログ：

プリンタIPアドレス設定

192 168 0 2

7 8 9 BS

4 5 6 CLR

1 2 3 ESC

0 ENT

設定項目ディスプレイ

「BS」キー

「CLR」キー

「ESC」キー

「ENT」キー

① 本機において IP アドレスを設定する際、「IP アドレス入力」ダイアログが表示されます。

② 設定する項目を選択後、数値を入力してください。

③ 「BS」キーをタッチすると、カーソル直前の文字が削除されます。

④ 「CLR」キーをタッチすると、入力されている数値全てが削除されます。

⑤ 「ESC」キーをタッチすると、入力された数値を反映せず、ダイアログから抜け出せます。

⑥ IP アドレス入力後、「ENT」キーをタッチしてください。入力した IP アドレスが反映されます。

10.5.　　　英数入力

「被検者情報登録」画面や「レポート出力」画面において、被検者 ID やファイル名を入力する際、「英数入力」ダイアログが表示されます。

「英数入力・英字」ダイアログ：

「英数入力・数字」ダイアログ：

① このダイアログでは英字、数字を入力します。

② 「MODE」キーをタッチすることでダイアログを変更します。

③ 「BS」キーをタッチすると、カーソル直前の文字が削除されます。

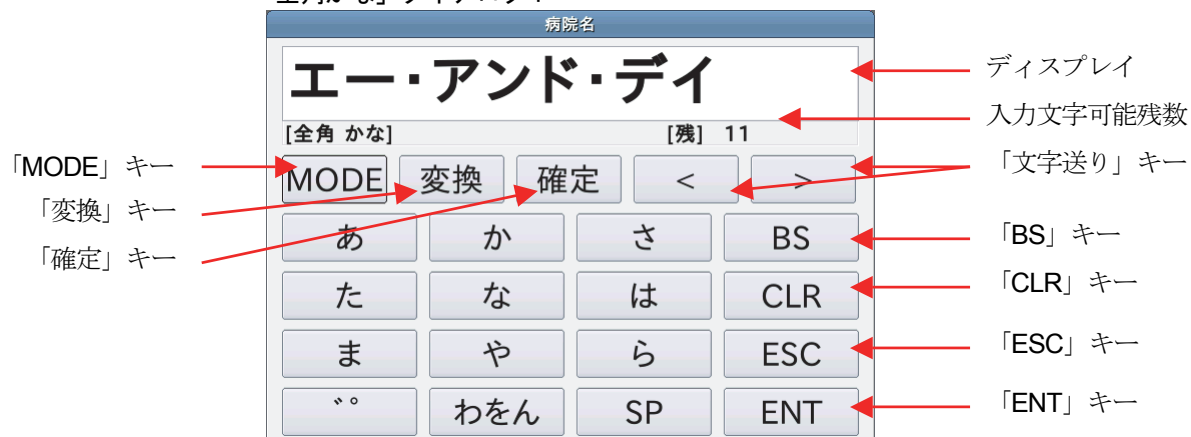
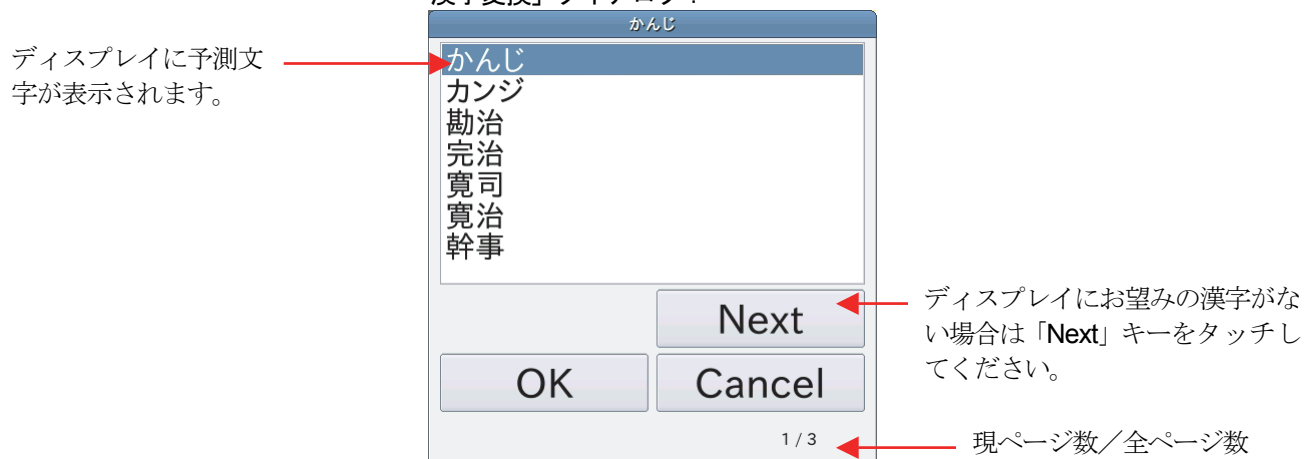
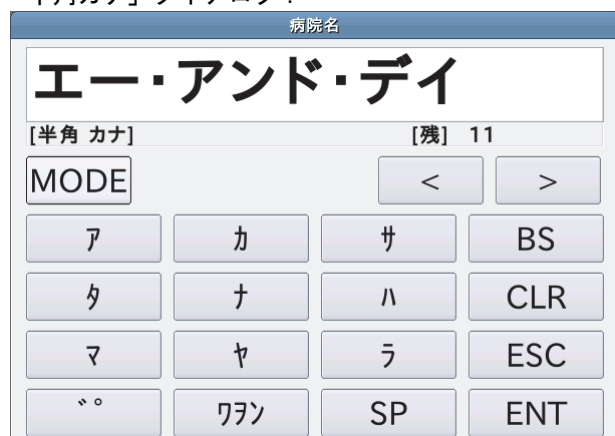
④ 「CLR」キーをタッチすると、入力されている数値全てが削除されます。

⑤ 「ESC」キーをタッチすると、入力された数値を反映せず、ダイアログから抜け出せます。

⑥ 入力後、「ENT」キーをタッチしてください。入力した内容が反映されます。

10.6. 全角かな入力

「病院情報設定」画面において、病院名や病院住所を入力する際、「全角かな入力」ダイアログが表示されます。

「全角かな」ダイアログ：

「漢字変換」ダイアログ：

「半角カナ」ダイアログ：

「半角英字」ダイアログ：

「半角数字」ダイアログ：

「全角英字」ダイアログ：

「全角数字」ダイアログ：

病院名
エー・アンド・デイ
[全角 数字]　[残] 11
MODE　<　>
1　2　3　BS
4　5　6　CLR
7　8　9　ESC
{[(　0　SP　ENT

① このダイアログでは［全角かな］、［半角カナ］、［半角英字］、［半角数字］、［全角英字］、［全角数字］入力をします。

② 「MODE」キーをタッチすることでダイアログを変更します。

③ ［全角 かな］入力では「変換」キーをタッチすることで、漢字変換することもできます。「漢字変換」ダイアログが表示されます。入力漢字を選択後、「OK」キーをタッチしてください。

④ 漢字変換を行わない場合は「確定」キーをタッチしてください。

⑤ 「BS」キーをタッチすると、カーソル直前の文字が削除されます。

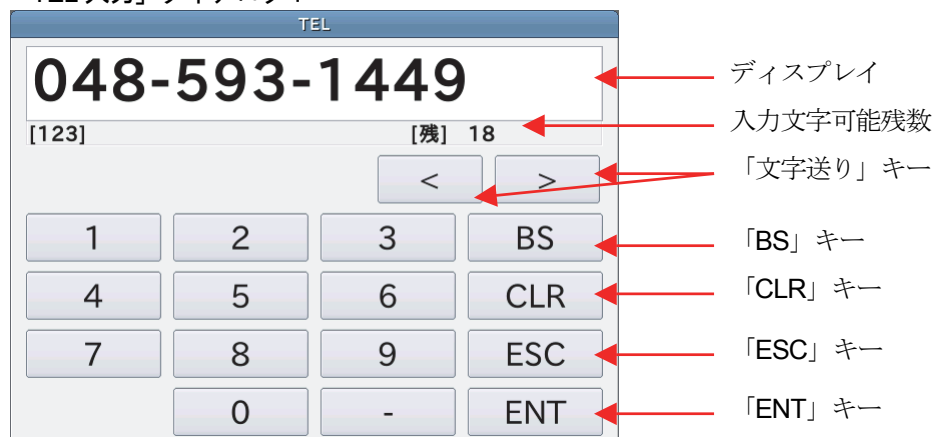
⑥ 「CLR」キーをタッチすると、入力されている数値全てが削除されます。

⑦ 「ESC」キーをタッチすると、入力された数値を反映せず、ダイアログから抜け出せます。

⑧ 入力後、「ENT」キーをタッチしてください。入力した内容が反映されます。

10.7.　TEL入力

「病院情報設定」画面において、電話番号を入力する際、「TEL 入力」ダイアログが表示されます。

「TEL 入力」ダイアログ：

① 電話番号入力後、「ENT」キーをタッチしてください。入力した内容が反映されます。

11. レポート印刷

「データ解析区間」画面において「レポート出力」キーをタッチすると、「レポート印刷」画面になります。
（詳細は「7.3.6. レポート出力」を参照してください。）

「レポート印刷」画面：

レポート印刷について説明します。

●同時刻データの扱い

次のとおり、①、②の順で同時刻に連続して測定した場合

① 9：00　測定値 A
② 9：00　測定値 B

①②共にグラフおよびリストに記載されます。また、統計処理等の解析対象となります。

●時間が戻った場合の処理

次のとおり、時刻設定を戻した場合

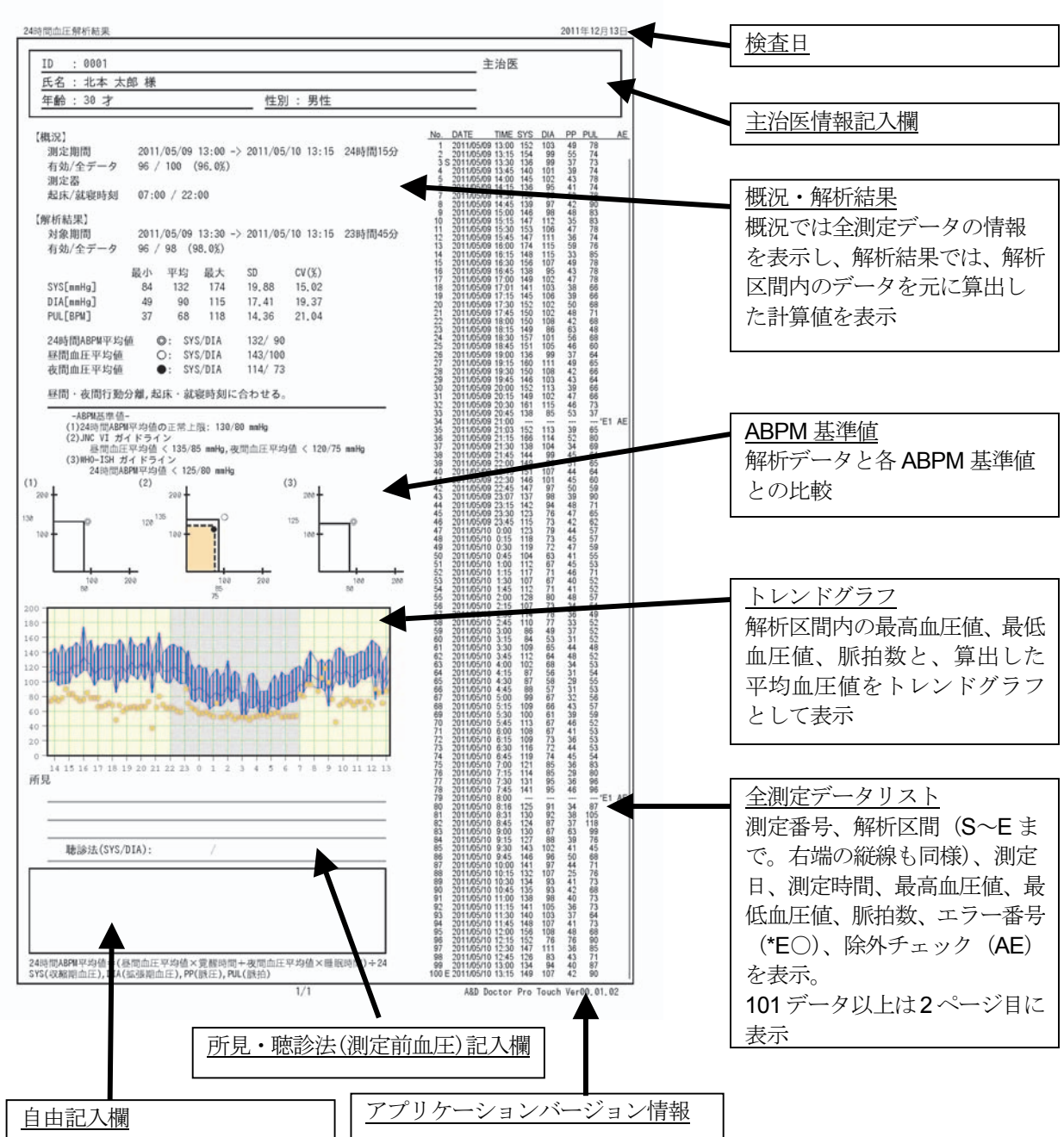
① 9：00　測定値 A
（時刻設定を 8：00 に変更して測定開始）
② 8：00　測定値 B
③ 8：30　測定値 C
④ 9：00　測定値 D

この場合は測定値を時間順にソートして解析対象とします。グラフ・リストへの記載もソート順となります。

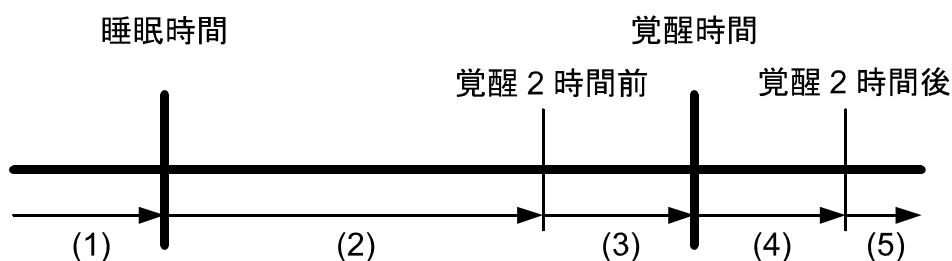
11.1.　24時間レポート

① 24 時間レポートは、保険点数対応のレポート形式です。保険点数を得るのに十分な情報が記されています。
② 除外したデータにはリスト欄に AE マークがつきます。
③ 解析データが 100 件を超える場合は 2 ページ以降に印刷されます。
④ 印刷するには解析区間内に 2 個以上の有効データが必要です。

11.1.1.　印刷例　24時間レポート

24 時間レポートの印字例を下記に示します。

11.2. 簡易レポート

① 簡易レポートは、測定データの解析結果をA4版レポート1枚にまとめたレポート形式です。フルレポートの簡易版ではありません。
② 簡易レポートは主に早朝血圧をチェックするためのレポート形式です。
③ 簡易レポートでは起床時間を覚醒時間と表記しています。また、就寝時間を睡眠時間と表記しています。
④ 印刷するには解析区間内に2個以上の有効データが必要です。ただし、この2個のデータは各々覚醒時以降、睡眠時中のデータである必要があります。
⑤ 簡易レポート内のグラフや表を全て表示させるには③のデータも含め、最低6個のデータが必要です。

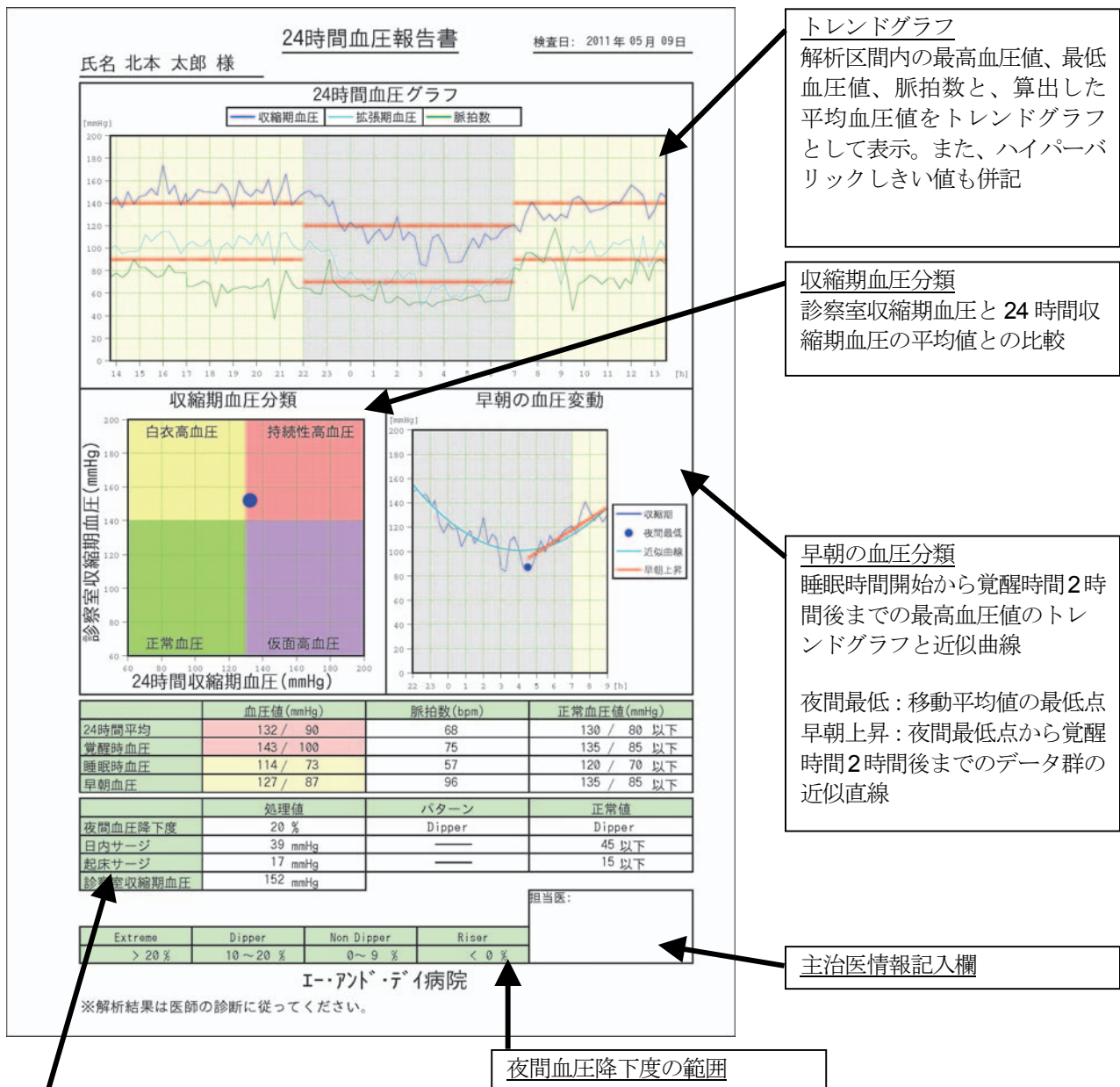
以下に必要なデータの詳細を列挙します。
(1) 夜間血圧降下度算出のため、覚醒時間から睡眠時間までの間にデータが1個以上必要
(2) 夜間最低点算出のため、睡眠時間から覚醒2時間前までの間にデータが1個以上必要
(3) 起床サージ算出のため、覚醒2時間前から覚醒時間までの間にデータが1個以上必要
(4) 早朝血圧算出のため、覚醒時間から覚醒2時間後までの間にデータが2個以上必要
(5) 早朝血圧検索のため、覚醒2時間後以降にデータが1個以上必要

	開始	終了	最低個数	算出項目
(1)	覚醒時間(含む)	睡眠時間	1	夜間血圧降下度
(2)	睡眠時間(含む)	覚醒2時間前	1	夜間最低点
(3)	覚醒2時間前(含む)	覚醒時間	1	起床サージ
(4)	覚醒時間(含む)	覚醒2時間後(含む)	2	早朝血圧
(5)	覚醒2時間後(含む)	睡眠時間	1	早朝血圧

11.2.1. 印刷例　簡易レポート

簡易レポートの印字例を下記に示します。

	血圧値(mmHg)	脈拍数(bpm)	正常血圧値(mmHg)
24時間平均	132 / 90	68	130 / 80 以下
覚醒時血圧	143 / 100	75	135 / 85 以下
睡眠時血圧	114 / 73	57	120 / 70 以下
早朝血圧	127 / 87	96	135 / 85 以下

	処理値	パターン	正常値
夜間血圧降下度	20 %	Dipper	Dipper
日内サージ	39 mmHg	――	45 以下
起床サージ	17 mmHg	――	15 以下
診察室収縮期血圧	152 mmHg		

Extreme	Dipper	Non Dipper	Riser
> 20 %	10～20 %	0～9 %	< 0 %

トレンドグラフ
解析区間内の最高血圧値、最低血圧値、脈拍数と、算出した平均血圧値をトレンドグラフとして表示。また、ハイパーバリックしきい値も併記

収縮期血圧分類
診察室収縮期血圧と 24 時間収縮期血圧の平均値との比較

早朝の血圧分類
睡眠時間開始から覚醒時間2時間後までの最高血圧値のトレンドグラフと近似曲線

夜間最低 : 移動平均値の最低点
早朝上昇 : 夜間最低点から覚醒時間2時間後までのデータ群の近似直線

主治医情報記入欄

夜間血圧降下度の範囲

解析結果
解析区間内のデータを元に算出した計算値を表示
・24 時間平均 ・・・・解析区間内のデータの平均値
・覚醒時血圧・・・・・覚醒時間中の平均値
・睡眠時血圧・・・・・睡眠時間中の平均値
・早朝血圧・・・・・・覚醒から覚醒 2 時間後までのデータ群の平均値
・夜間血圧降下度・・・100－(睡眠時血圧÷覚醒時血圧×100)
・日内サージ・・・・・夜間最低点における血圧値と早朝血圧との差
・起床サージ・・・・・覚醒 2 時間前から覚醒までのデータ群の平均値と早朝血圧との差
・診察室収縮期血圧・・「レポート印刷」画面における入力値（未入力時は測定 1 回目の最高血圧値）

11.3. フルレポート

① フルレポートは、全ての測定データリストと、解析区間内のデータを用いたグラフ印刷結果を印字するレポート形式です。

② 印刷するには解析区間内に 2 個以上の有効データが必要です。ただし、この 2 個のデータは別時刻のデータである必要があります。

11.3.1. 印刷例 フルレポート

フルレポートの印字例を下記に示します。

Patient ID : 0001
Patient Name : 北本 太郎 様

2011/11/15 15:46

SUMMARY

部分区間解析

区間範囲 23h 45m 2011/05/09 13:45 -> 2011/05/10 13:30
有効データ数 96
無効データ数 2 2.0%

	最小値	平均値	最大値	SD	SE	CV%
最高血圧[mmHg]	84	132	174	19.92	2.03	15.04
最低血圧[mmHg]	49	90	115	17.41	1.78	19.37
平均血圧[mmHg]	61	104	134	17.93	1.83	17.29
脈拍[BPM]	37	68	118	14.45	1.47	21.14

SYS/DIAしきい値 起床時 140 / 90 [mmHg]
睡眠時 120 / 70 [mmHg]

最高血圧 > 49.0 %
最低血圧 > 74.0 %

最高血圧最大値 174 mmHg at 2011/05/09 16:00
最高血圧最小値 84 mmHg at 2011/05/10 03:15
最低血圧最大値 115 mmHg at 2011/05/09 16:00
最低血圧最小値 49 mmHg at 2011/05/10 03:00

- 2/11 -

Patient ID : 0001
Patient Name : 北本 太郎 様

2011/11/15 15:46

SUMMARY

起床区間

区間範囲 07:00 -> 22:00
有効データ数 60
無効データ数 2 3.2%

	最小値	平均値	最大値	SD	SE	CV%
最高血圧[mmHg]	114	143	174	11.07	1.43	7.72
最低血圧[mmHg]	67	100	115	9.97	1.29	9.98
平均血圧[mmHg]	88	114	134	9.55	1.23	8.36
脈拍[BPM]	37	75	118	13.38	1.73	17.83

SYS/DIAしきい値 起床時 140 / 90 [mmHg]

最高血圧 > 63.3 %
最低血圧 > 85.0 %

最高血圧最大値 174 mmHg at 2011/05/09 16:00
最高血圧最小値 114 mmHg at 2011/05/10 07:15
最低血圧最大値 115 mmHg at 2011/05/09 16:00
最低血圧最小値 67 mmHg at 2011/05/10 09:00

- 3/11 -

Patient ID : 0001
Patient Name : 北本 太郎 様

2011/11/15 15:46

SUMMARY

就寝区間

区間範囲 22:00 -> 07:00
有効データ数 36
無効データ数 0 0.0%

	最小値	平均値	最大値	SD	SE	CV%
最高血圧[mmHg]	84	114	151	17.87	2.98	15.66
最低血圧[mmHg]	49	73	107	13.88	2.31	18.98
平均血圧[mmHg]	61	86	121	15.10	2.52	17.46
脈拍[BPM]	48	57	90	7.85	1.31	13.71

SYS/DIAしきい値 睡眠時 120 / 70 [mmHg]

最高血圧 > 25.0 %
最低血圧 > 55.6 %

最高血圧最大値 151 mmHg at 2011/05/09 22:15
最高血圧最小値 84 mmHg at 2011/05/10 03:15
最低血圧最大値 107 mmHg at 2011/05/09 22:15
最低血圧最小値 49 mmHg at 2011/05/10 03:00

- 4/11 -

サマリーデータ
解析区間データ、解析区間内の起床時間帯のみのデータ、就寝時間帯のみのデータを元に算出されたサマリーデータ

SD：標準偏差値
SE：標準誤差値
CV%：変動係数値

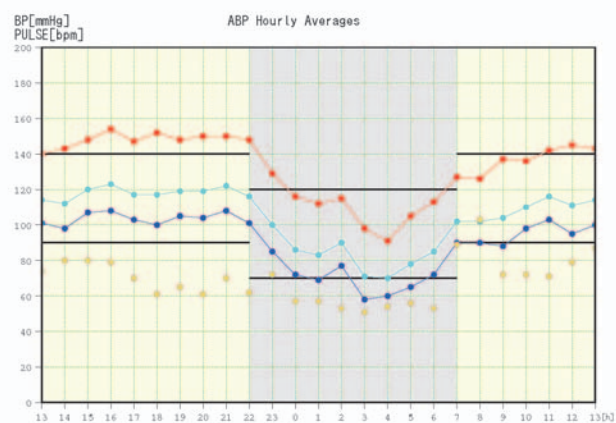
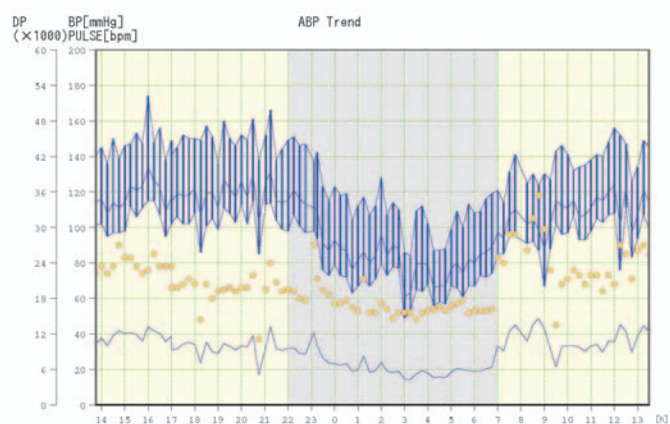
Patient ID　: 0001
Patient Name　: 北本 太郎 様

2011/11/15 15:46

ALL BP DATA

No.	DATE	TIME	SYS	DIA	PP	PUL	AE
1	2011/05/09	13:00	152	103	49	78	
2	2011/05/09	13:15	154	99	55	74	
3	2011/05/09	13:30	136	99	37	73	
4	2011/05/09	13:45	140	101	39	74	
5	2011/05/09	14:00	145	102	43	78	
6	2011/05/09	14:15	136	95	41	74	
7	2011/05/09	14:30	150	97	53	78	
8	2011/05/09	14:45	139	97	42	90	
9	2011/05/09	15:00	146	98	48	83	
10	2011/05/09	15:15	147	112	35	83	
11	2011/05/09	15:30	153	106	47	78	
12	2011/05/09	15:45	147	111	36	74	
13	2011/05/09	16:00	174	115	59	76	
14	2011/05/09	16:15	148	115	33	85	
15	2011/05/09	16:30	156	107	49	78	
16	2011/05/09	16:45	138	95	43	78	
17	2011/05/09	17:00	149	102	47	78	
18	2011/05/09	17:01	141	103	38	66	
19	2011/05/09	17:15	145	106	39	66	
20	2011/05/09	17:30	152	102	50	68	
21	2011/05/09	17:45	150	102	48	71	
22	2011/05/09	18:00	150	108	42	68	
23	2011/05/09	18:15	149	86	63	48	
24	2011/05/09	18:30	157	101	56	68	
25	2011/05/09	18:45	151	105	46	60	
26	2011/05/09	19:00	136	99	37	64	
27	2011/05/09	19:15	160	111	49	65	
28	2011/05/09	19:30	150	108	42	66	
29	2011/05/09	19:45	146	103	43	64	
30	2011/05/09	20:00	152	113	39	66	
31	2011/05/09	20:15	149	102	47	66	
32	2011/05/09	20:30	161	115	46	73	
33	2011/05/09	20:45	138	85	53	37	
34	2011/05/09	21:00	---	---	---	---	*E1 AE
35	2011/05/09	21:03	152	113	39	65	
36	2011/05/09	21:15	166	114	52	80	
37	2011/05/09	21:30	138	104	34	69	
38	2011/05/09	21:45	144	99	45	64	
39	2011/05/09	22:00	149	98	51	65	
40	2011/05/09	22:15	151	107	44	64	
41	2011/05/09	22:30	146	101	45	60	
42	2011/05/09	22:45	147	97	50	59	
43	2011/05/09	23:07	137	98	39	90	
44	2011/05/09	23:15	142	94	48	71	
45	2011/05/09	23:30	123	76	47	65	
46	2011/05/09	23:45	115	73	42	62	
47	2011/05/10	00:00	123	79	44	57	
48	2011/05/10	00:15	118	73	45	57	
49	2011/05/10	00:30	119	72	47	59	
50	2011/05/10	00:45	104	63	41	55	
51	2011/05/10	01:00	112	67	45	53	
52	2011/05/10	01:15	117	71	46	71	
53	2011/05/10	01:30	107	67	40	52	
54	2011/05/10	01:45	112	71	41	52	
55	2011/05/10	02:00	128	80	48	57	
56	2011/05/10	02:15	107	73	34	54	
57	2011/05/10	02:30	114	78	36	49	
58	2011/05/10	02:45	110	77	33	52	
59	2011/05/10	03:00	86	49	37	52	
60	2011/05/10	03:15	84	53	31	52	
61	2011/05/10	03:30	109	65	44	48	
62	2011/05/10	03:45	112	64	48	52	
63	2011/05/10	04:00	102	68	34	53	
64	2011/05/10	04:15	87	56	31	54	
65	2011/05/10	04:30	87	58	29	55	
66	2011/05/10	04:45	88	57	31	53	
67	2011/05/10	05:00	99	67	32	56	
68	2011/05/10	05:15	109	66	43	57	
69	2011/05/10	05:30	100	61	39	59	
70	2011/05/10	05:45	113	67	46	52	
71	2011/05/10	06:00	108	67	41	53	
72	2011/05/10	06:15	109	73	36	53	
73	2011/05/10	06:30	116	72	44	53	
74	2011/05/10	06:45	119	74	45	54	
75	2011/05/10	07:00	121	85	36	83	
76	2011/05/10	07:15	114	85	29	80	
77	2011/05/10	07:30	131	95	36	96	
78	2011/05/10	07:45	141	95	46	96	
79	2011/05/10	08:00	---	---	---	---	*E1 AE
80	2011/05/10	08:16	125	91	34	87	
81	2011/05/10	08:31	130	92	38	105	
82	2011/05/10	08:45	124	87	37	118	
83	2011/05/10	09:00	130	67	63	99	
84	2011/05/10	09:15	127	88	39	76	
85	2011/05/10	09:30	143	102	41	45	
86	2011/05/10	09:45	146	96	50	68	
87	2011/05/10	10:00	141	97	44	71	
88	2011/05/10	10:15	132	107	25	76	
89	2011/05/10	10:30	134	93	41	73	
90	2011/05/10	10:45	135	93	42	68	
91	2011/05/10	11:00	138	98	40	73	
92	2011/05/10	11:15	141	105	36	73	
93	2011/05/10	11:30	140	103	37	64	
94	2011/05/10	11:45	148	107	41	73	
95	2011/05/10	12:00	156	108	48	68	
96	2011/05/10	12:15	152	76	76	90	
97	2011/05/10	12:30	147	111	36	85	
98	2011/05/10	12:45	126	83	43	71	
99	2011/05/10	13:00	134	94	40	87	
100	2011/05/10	13:15	149	107	42	90	
101	2011/05/10	13:30	145	99	46	85	

- 5/11 -

全測定データリスト
測定番号、測定日、測定時間、最高血圧値、最低血圧値、脈拍数、エラー番号（*E○）、除外データ（AE）を表示
右端の縦線は解析区間

トレンドグラフ
解析区間内のデータと、算出された値を時系列順に並べて表示
表示項目は最高血圧値、平均血圧値、最低血圧値（線形表示、同時間帯データは結線）、脈拍数（散布図表示）、ダブルプロダクト（線形表示）

平均トレンドグラフ
解析区間内のデータを1時間ごとに平均し、データ群をトレンドグラフ表示
表示項目は最高血圧値、平均血圧値、最低血圧値（線形表示）、脈拍数（散布図表示）。また、ハイパーバリックしきい値を併記

Patient ID　: 0001
Patient Name　: 北本 太郎 様

2011/11/15 15:46

BP DATA

No.	DATE	TIME	SYS	DIA	MAP	PUL	DP	EV
1	2011/05/09	13:45	140	101	114	74	10.3	
2	2011/05/09	14:00	145	102	116	78	11.3	
3	2011/05/09	14:15	136	95	108	74	10.0	
4	2011/05/09	14:30	150	97	114	78	11.7	
5	2011/05/09	14:45	139	97	111	90	12.5	
6	2011/05/09	15:00	146	98	114	83	12.1	
7	2011/05/09	15:15	147	112	123	83	12.2	
8	2011/05/09	15:30	153	106	121	78	11.9	
9	2011/05/09	15:45	147	111	123	74	10.8	
10	2011/05/09	16:00	174	115	134	76	13.2	
11	2011/05/09	16:15	148	115	126	85	12.5	
12	2011/05/09	16:30	156	107	123	78	12.1	
13	2011/05/09	16:45	138	95	109	78	10.7	
14	2011/05/09	17:00	149	102	117	78	11.6	
15	2011/05/09	17:01	141	103	115	66	9.3	
16	2011/05/09	17:15	145	106	119	66	9.5	
17	2011/05/09	17:30	152	102	118	68	10.3	
18	2011/05/09	17:45	150	102	118	71	10.6	
19	2011/05/09	18:00	150	108	122	68	10.2	
20	2011/05/09	18:15	149	86	107	48	7.1	
21	2011/05/09	18:30	157	101	119	68	10.6	
22	2011/05/09	18:45	151	105	120	60	9.0	
23	2011/05/09	19:00	136	99	111	64	8.7	
24	2011/05/09	19:15	160	111	127	65	10.4	
25	2011/05/09	19:30	150	108	122	66	9.9	
26	2011/05/09	19:45	146	103	117	64	9.3	
27	2011/05/09	20:00	152	113	126	66	10.0	
28	2011/05/09	20:15	149	102	117	66	9.8	
29	2011/05/09	20:30	161	115	130	73	11.7	
30	2011/05/09	20:45	138	85	102	37	5.1	
31	2011/05/09	21:03	152	113	126	65	9.8	
32	2011/05/09	21:15	166	114	131	80	13.2	
33	2011/05/09	21:30	138	104	115	69	9.5	
34	2011/05/09	21:45	144	99	114	64	9.2	
35	2011/05/09	22:00	149	98	115	65	9.6	
36	2011/05/09	22:15	151	107	121	64	9.6	
37	2011/05/09	22:30	146	101	116	60	8.7	
38	2011/05/09	22:45	147	97	113	59	8.6	
39	2011/05/09	23:07	137	98	111	90	12.3	
40	2011/05/09	23:15	142	94	110	71	10.0	
41	2011/05/09	23:30	123	76	91	65	7.9	
42	2011/05/09	23:45	115	73	87	62	7.1	
43	2011/05/10	00:00	123	79	93	57	7.0	
44	2011/05/10	00:15	118	73	88	57	6.7	
45	2011/05/10	00:30	119	72	87	59	7.0	
46	2011/05/10	00:45	104	63	76	55	5.7	
47	2011/05/10	01:00	112	67	82	53	5.9	
48	2011/05/10	01:15	117	71	86	71	8.3	
49	2011/05/10	01:30	107	67	80	52	5.5	
50	2011/05/10	01:45	112	71	84	52	5.8	
51	2011/05/10	02:00	128	80	96	57	7.2	
52	2011/05/10	02:15	107	73	84	54	5.7	
53	2011/05/10	02:30	114	78	90	49	5.5	
54	2011/05/10	02:45	110	77	88	52	5.7	
55	2011/05/10	03:00	86	49	61	52	4.4	
56	2011/05/10	03:15	84	53	63	52	4.3	
57	2011/05/10	03:30	109	65	79	48	5.2	
58	2011/05/10	03:45	112	64	80	52	5.8	
59	2011/05/10	04:00	102	68	79	53	5.4	
60	2011/05/10	04:15	87	56	66	54	4.6	
61	2011/05/10	04:30	87	58	67	55	4.7	
62	2011/05/10	04:45	88	57	67	53	4.6	
63	2011/05/10	05:00	99	67	77	56	5.5	
64	2011/05/10	05:15	109	66	80	57	6.2	
65	2011/05/10	05:30	100	61	74	59	5.9	
66	2011/05/10	05:45	113	67	82	52	5.8	
67	2011/05/10	06:00	108	67	80	53	5.7	
68	2011/05/10	06:15	109	73	85	53	5.7	
69	2011/05/10	06:30	116	72	86	53	6.1	
70	2011/05/10	06:45	119	74	89	54	6.4	
71	2011/05/10	07:00	121	85	97	83	10.0	
72	2011/05/10	07:15	114	85	94	80	9.1	
73	2011/05/10	07:30	131	95	107	96	12.5	
74	2011/05/10	07:45	141	95	110	96	13.5	
75	2011/05/10	08:16	125	91	102	87	10.8	
76	2011/05/10	08:31	130	92	104	105	13.6	
77	2011/05/10	08:45	124	87	99	118	14.6	
78	2011/05/10	09:00	130	67	88	99	12.8	
79	2011/05/10	09:15	127	88	101	76	9.6	
80	2011/05/10	09:30	143	102	115	45	6.4	
81	2011/05/10	09:45	146	96	112	68	9.9	
82	2011/05/10	10:00	141	97	111	71	10.0	
83	2011/05/10	10:15	132	107	115	76	10.0	
84	2011/05/10	10:30	134	93	106	73	9.7	
85	2011/05/10	10:45	135	93	107	68	9.1	
86	2011/05/10	11:00	138	98	111	73	10.0	
87	2011/05/10	11:15	141	105	117	73	10.2	
88	2011/05/10	11:30	140	103	115	64	8.9	
89	2011/05/10	11:45	148	107	120	73	10.8	
90	2011/05/10	12:00	156	108	124	68	10.6	
91	2011/05/10	12:15	152	76	101	90	13.6	
92	2011/05/10	12:30	147	111	123	85	12.4	
93	2011/05/10	12:45	126	83	97	71	8.9	
94	2011/05/10	13:00	134	94	107	87	11.6	
95	2011/05/10	13:15	149	107	121	90	13.4	
96	2011/05/10	13:30	145	99	114	85	12.3	

- 7/11 -

解析区間データリスト

解析区間内のデータと、算出された計算値を表示

表示項目は測定番号、測定日、測定時間、最高血圧値、最低血圧値、平均血圧値、脈拍数、ダブルプロダクト、イベント（空欄時 : 自動測定、M 表記 : 手動測定）

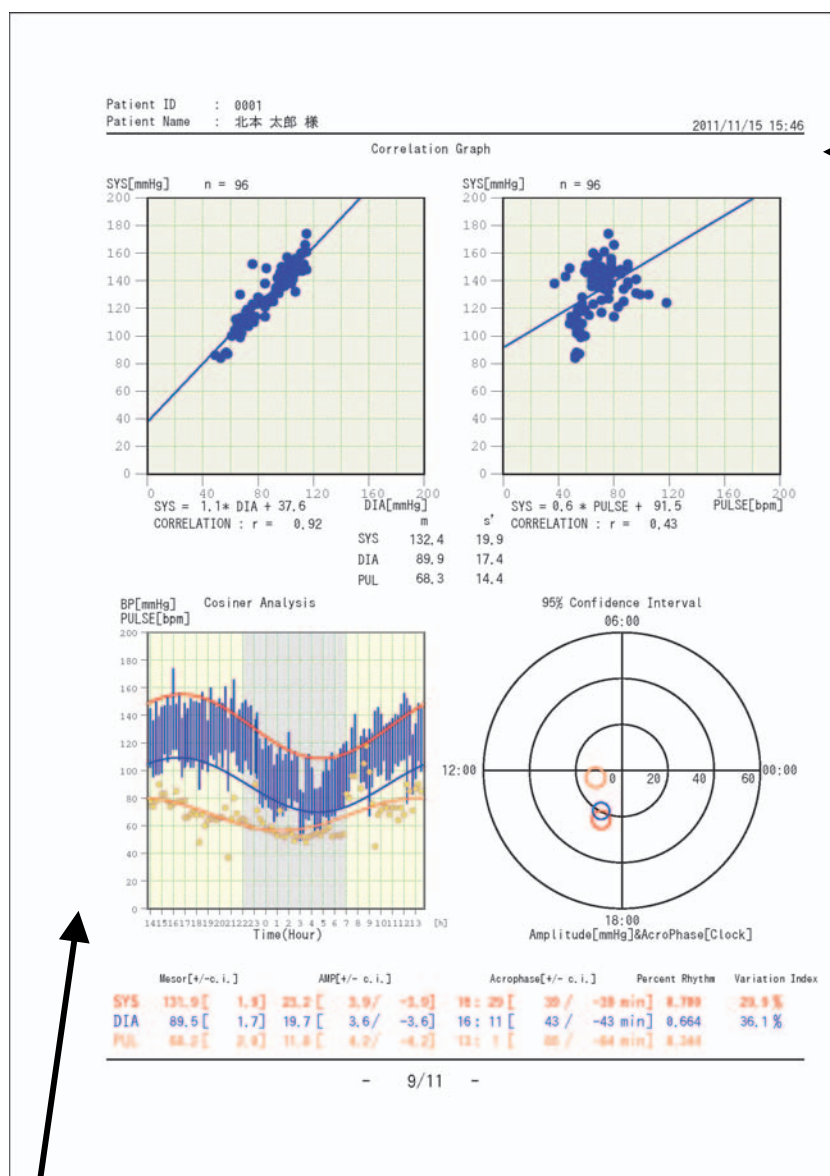
Patient ID　: 0001
Patient Name　: 北本 太郎 様

2011/11/15 15:46

AVERAGE BP DATA

No.	DATE	TIME	SYS	DIA	MAP	PUL	COUNT
1	2011/05/09	13h	140	101	114	74	1
2	2011/05/09	14h	143	98	112	80	4
3	2011/05/09	15h	148	107	120	80	4
4	2011/05/09	16h	154	108	123	79	4
5	2011/05/09	17h	147	103	117	70	5
6	2011/05/09	18h	152	100	117	61	4
7	2011/05/09	19h	148	105	119	65	4
8	2011/05/09	20h	150	104	119	61	4
9	2011/05/09	21h	150	108	122	70	4
10	2011/05/09	22h	148	101	116	62	4
11	2011/05/09	23h	129	85	100	72	4
12	2011/05/10	00h	116	72	86	57	4
13	2011/05/10	01h	112	69	83	57	4
14	2011/05/10	02h	115	77	90	53	4
15	2011/05/10	03h	98	58	71	51	4
16	2011/05/10	04h	91	60	70	54	4
17	2011/05/10	05h	105	65	78	56	4
18	2011/05/10	06h	113	72	85	53	4
19	2011/05/10	07h	127	90	102	89	4
20	2011/05/10	08h	126	90	102	103	3
21	2011/05/10	09h	137	88	104	72	4
22	2011/05/10	10h	136	98	110	72	4
23	2011/05/10	11h	142	103	116	71	4
24	2011/05/10	12h	145	95	111	79	4
25	2011/05/10	13h	143	100	114	87	3

- 8/11 -

平均トレンドデータリスト
平均トレンドグラフで用いられたデータのリストを表示
表示項目は計算番号、測定日、測定時間、最高血圧値の平均値、最低血圧値の平均値、平均血圧値の平均値、脈拍数の平均値、1 時間あたりのデータ数

相関図

解析区間内のデータを用い、最高血圧値と最低血圧値、最高血圧値と脈拍数の相関図と近似直線を表示

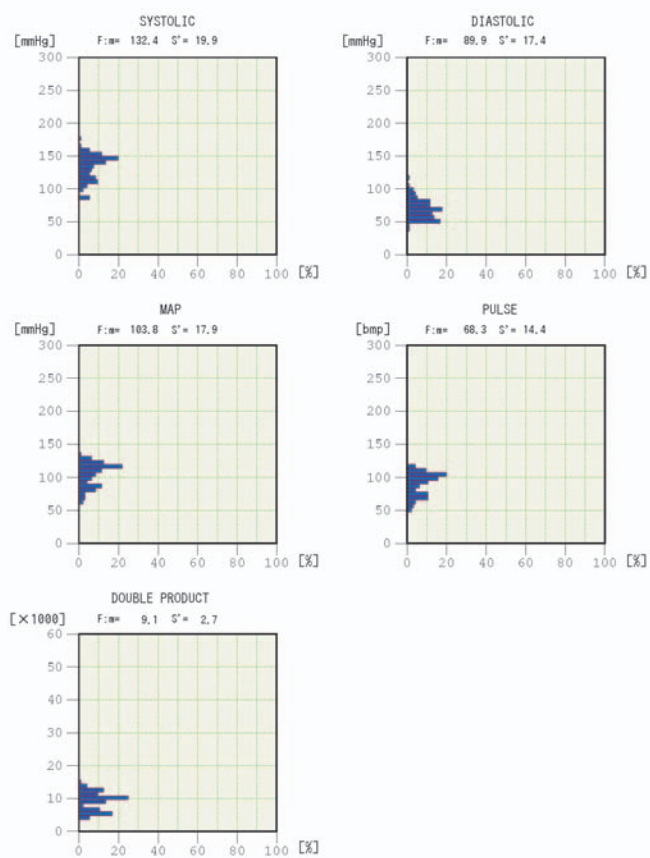
CORRELATION(r)：相関係数
m：平均値
S'：標準偏差
n：データ数

サーカディアンリズム

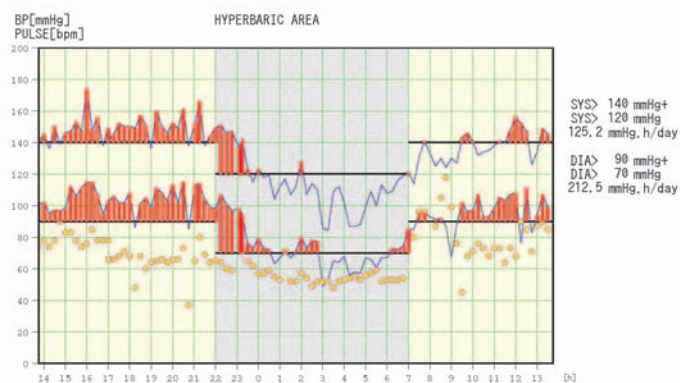
24 時間コサイナー法による日内リズムを表示。
各振幅値の 95%信頼性区間で推定した領域を円で表示し、リズム及びデータの妥当性を確認。
(解析終了時刻から 24 時間前までの最高血圧値と最低血圧値、脈拍数に対する周期回帰解析と、95%信頼区間内での予測解析)

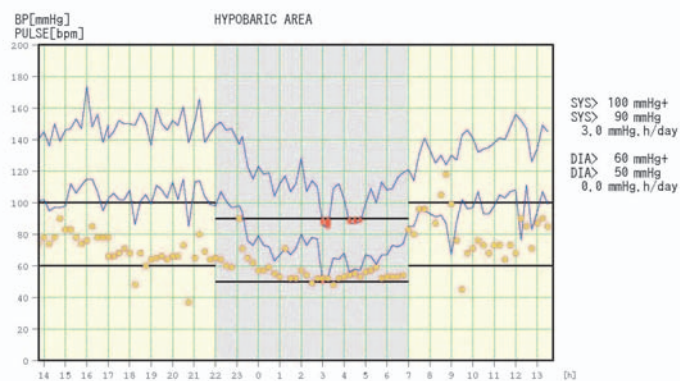
基本回帰式 ⇒ $Y=M+A\times COS(T)$

基本回帰式に基づき各測定値との誤差が最小になる曲線を求める(最小 2 乗法)。

M：Mesor(水準).....余弦曲線の中心(基線)
A：AMP(振幅).....最適に当てはめられた余弦曲線の振幅
T：Acrophase(位相).....最適に当てはめられた余弦曲線が最高値を示す位相(時間)
Percent Rhythm：実測値と予想値の相関
Variation Index(%)：余弦曲線の P－P の振幅を評価

<u>ヒストグラム</u>
解析区間内のデータを6単位ごとに区分けし、ヒストグラム表示

表示項目は最高血圧値、平均血圧値、最低血圧値、脈拍数、ダブルプロダクト

F:m・・・平均値
S'・・・・標準偏差

<u>HBI・ハイパーバリックしきい値グラフ</u>

解析区間内のデータから求められたトレンドグラフとハイパーバリックしきい値を比較し、しきい値以上の値を示す領域を表示し、その面積を数値化（mmHg.h/day）

<u>HBI・ハイポバリックしきい値グラフ</u>

解析区間内のデータから求められたトレンドグラフとハイポバリックしきい値を比較し、しきい値以下の値を示す領域を表示し、その面積を数値化（mmHg.h/day）

12. 困ったとき　Q＆A

12.1. 電源

Q1: 電源を入れているのに画面が暗い場合？

A1-1: 画面を触ると画面が明るくなりませんか？スクリーンセーバーが設定されています。
「8.4. 本体設定」を参照してください。

A1-2: 画面が薄暗く表示されていませんか？画面の明るさが「最低」に設定されている可能性あります。LCD 表示輝度で明るさを設定してください。「8.4. 本体設定」を参照してください。

12.2. 接続

Q2: 使用できるプリンタは？

A2: オプションプリンタが使用できます。「15. オプション」を参照してください。

Q3: LAN でパソコンと接続できますか？

A3: パソコンとの接続はできません。オプションプリンタ専用です。

Q4: ネットワーク上のプリンタで印刷できますか？

A4: ネットワークプリンタは、オプションプリンタを LAN に接続することで印刷ができます。
「8.4. 本体設定」を参照してください。
ネットワークに接続する場合は、システム管理者とご相談ください。

Q5: 市販の USB メモリは使用できますか？

A5: 使用できます。ただし、本体にて USB メモリのフォーマットを行ってください。「8.7. データ」の⑥項を参照してください。

注意：**フォーマットを行うと全て消去されます。大切なデータはパソコン等に、あらかじめ保存してください。**

12.3. ファイルデータ

Q6: 本体に保存できるデータ件数は？

A6: 約 500 件（目安）です。大切なデータは USB 経由でパソコン等に保存し、不要なデータは削除していただくことをお勧めします。「4. 仕様」を参照してください。

Q7: 保存できるファイル形式（種類）は？

A7-1: 本体への保存ファイルは、CSV ファイルと DAT ファイルの 2 種類があります。
「4. 仕様」を参照してください。

A7-2: USB メモリへの保存ファイルは、CSV ファイルと DAT ファイル、PDF ファイル（各種レポート）の合計 3 種類あります。

13. 保守

13.1. 点検と安全管理

本機の始業前点検などの日常管理は、本機の性能および安全性、有効性を維持するために保守管理する必要があります。
弊社血圧計の保守点検と併せて、本機の点検をお勧めします。

13.2. 清掃

⚠注意

- 清掃を行う際は、必ず電源を切り、ＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。
- 機器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。
- 本機の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。
  機器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1ヶ月に1回程度、以下のように行ってください。

液晶画面

柔らかい布で乾拭きしてください。汚れのひどい場合は、柔らかい布に中性洗剤または消毒用アルコールを少量含ませて液晶部を軽く拭きます。液が垂れないようにしてください。

本体

機器外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
清掃するときは、水にうすめた中性洗剤を使用してください。
血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

13.3. 修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、下記のチェック表および、次節のエラーメッセージ表に該当する現象がないかお確かめください。これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、弊社ME機器相談センターにお問い合わせください。

現象	確認内容
画面が全く表示しない。	■ 専用ＡＣアダプタは接続されていますか？
動作しない。	■ エラーメッセージが表示していませんか？ 「13.4. エラーメッセージ表」を確認し、一旦電源をON/OFFしてください。
通信できない。	■ 本機と血圧計の通信ケーブルは接続していますか?

- 本機の分解、および改造はしないでください。
  火災・感電の原因になります。

13.4.　エラーメッセージ表

エラーメッセージ	エラー内容
データの読み込みに失敗しました。 接続を確認してください。	血圧計、ファイルのデータの読み込みに失敗しました。
データの書き込みに失敗しました。	CSV、DATファイルの書き込みに失敗しました。
表示するデータ数が足りません。	データ数が1点以下なので、グラフを表示することができませんでした。
設定内容を確認してください。	測定パターンの設定が不正です。時系列を見直してください。また、測定間隔が 120 分である場合、次時刻との間隔を 2 の倍数時刻に設定してください。
簡易レポートの印刷に失敗しました。 データの選択条件を取扱説明書にて確認してください。	簡易レポートの計算に失敗しました。血圧データを見直してください。
フルレポートの印刷に失敗しました。 ＸＸＸのデータの選択条件を取扱説明書にて確認してください。	フルレポートの計算に失敗しました。 →ＸＸＸには、平均リストやサーカディアン等、 計算が失敗したデータ名が入ります。
本体メモリの容量が残り少なくなりました。 保存ファイルを整理してください。	本体メモリの容量が残り 1%を切りました。 保存ファイルを整理して、容量を確保してください。
USBメモリの容量が残り少なくなりました。 保存ファイルを整理してください。	USBメモリの容量が残り1%を切りました。 保存ファイルを整理して、容量を確保してください。
USBメモリにファイルを書き込めません。 保存ファイルを整理してください。	USB メモリの容量の空きがありません。 保存ファイルを整理して、容量を確保してください。 また、本体メモリにもファイルを書き込もうとしていた場合は、USB メモリへのチェックマークを外してから、再度ファイル出力キーをタッチしてください。
本体メモリにファイルを書き込めません。 保存ファイルを整理してください。	本体メモリの容量の空きがありません。 保存ファイルを整理して、容量を確保してください。 また、USBメモリにもファイルを書き込もうとしていた場合は、本体メモリへのチェックマークを外してから、再度ファイル出力キーをタッチしてください。
通信エラーが発生しました（ＸＸＸ）	血圧計との間に通信エラーが発生しました。接続をやり直してください。 →ＸＸＸにはエラー番号が入ります。

13.5. 廃棄

⚠注意	
	■ 機器を棄却するときは、機器内にある内蔵バックアップ電池（リチウム電池）を外してください。

本機の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

品　名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール
	袋	ビニール
本体内部	筐体	ABS 樹脂
	内部部品	一般部品
	シャーシ	鉄
	基板上の内蔵電池（バックアップ）	リチウム電池

14. アクセサリ

品名	型名
通信ケーブル　※付属ケーブルと同じ物です。	AX-KO3676-1500
ＡＣアダプタ	AX-TB252
傾斜台	1094000833

15. オプション

品名	型名
USB-RS232C 変換ケーブル	AX-KO3057-200
カラーレーザープリンタ	AS-HL4570
モノクロレーザープリンタ	AS-HL5380
USB フラッシュメモリ	AS-GHUFD2G
USB ケーブル（AB コネクタ）	AS-KU20-2
LAN ケーブル（カテゴリー5）	市販品（ケーブル長 3m まで）

16. アフターサービス・保証

本製品、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

17. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。

- 本体･･ ご購入より 12 ヶ月
- オプション・プリンタ･･･････････････････････････････････････ ご購入より 12 ヶ月

18. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、および修理に基づく故障・損傷。
- この取扱説明書に記載している安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
- この取扱説明書に記載している電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・損傷。
- 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をした結果に基づく故障・損傷。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。

18.1. 製品に関するご質問・ご相談窓口

- 弊社 ME 機器相談センターにお申し付けください。